

遠軽町子ども・子育て支援に関する
ニーズ調査結果報告書

(就学前児童)

平成 31 年 3 月

遠 軽 町

目 次

I	調査の概要	1
1	調査の概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査対象及び調査方法	1
	(3) 配布数及び回収結果	1
2	本調査報告書の基本的な事項	1
	(1) 数値の基本的な取り扱いについて	1
II	調査結果	2
1	回答者の属性	2
2	家族の状況について	2
3	子どもの育ちをめぐる環境について	3
4	子どもの保護者の就労状況について	6
5	妊娠・出産・子育てと就労の継続について	13
6	子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	14
7	地域の子育て支援事業の利用状況	21
8	土曜・休日や長期休み中の教育・保育事業の利用希望について	22
9	夜間保育の利用希望について	26
10	子どもの病気の際の対応について	28
11	不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	32
12	小学校就学後の放課後の過ごし方について	36
13	職場の両立支援制度について	41
14	子育て環境や支援について	46
15	自由記載	49

I 調査の概要

1 調査の概要

(1) 調査目的

本調査は、「遠軽町子ども・子育て支援事業計画」策定のための基礎資料として、対象となるお子さんの保護者の就労状況、サービス利用の実態、子育てに関する意識・意見を把握することを目的に実施したものです。

(2) 調査対象及び調査方法

項目	内容
調査対象	町内の就学前児童のいる世帯
配布数	796
抽出法	無作為抽出
調査方法	郵送法
調査時期	平成 30 年 11 月
調査地域	遠軽町全域

(3) 配布数及び回収結果

配布数	796
有効回収数	441
有効回収率	55.4%

2 本調査報告書の基本的な事項

(1) 数値の基本的な取り扱いについて

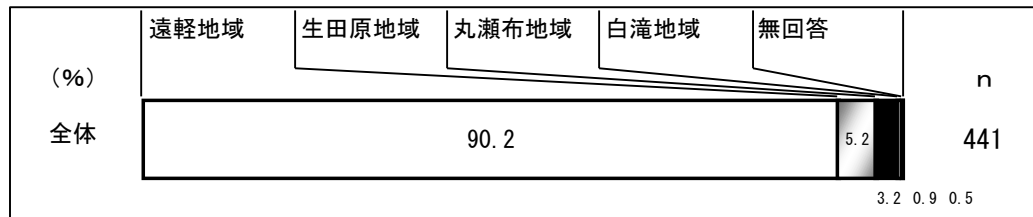
- ①比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下 2 位を四捨五入して算出している。
従って、合計が 100％を上下する場合もある。
- ②基数となるべき実数は、“n＝〇〇〇”として掲載し、各比率は n を 100％として算出している。
- ③質問の終わりに【複数回答】とある問は、1 人の回答者が 2 つ以上の回答を出しても良い問であり、従って各回答の合計比率は 100％を超える場合がある。
- ④【前回調査との比較】は、本町において平成 25 年に実施した「子ども・子育て支援事業計画策定に伴うアンケート調査」との比較を行ったものである。

Ⅱ 調査結果

1 回答者の属性

問1 お住まいの地区はどちらですか。(1つに○)

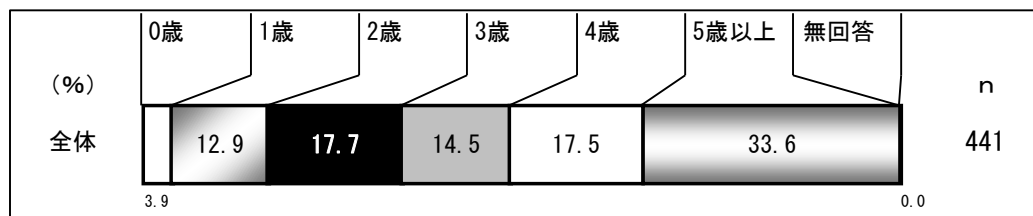
「遠軽地域」(90.2%)、「生田原地域」(5.2%)、「丸瀬布地域」(3.2%)、「白滝地域」(0.9%)となっている。



2 家族の状況について

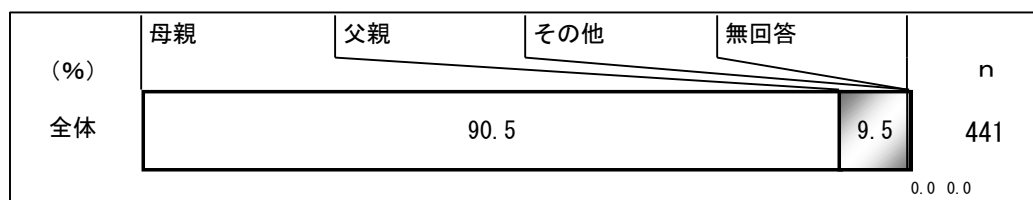
問2 宛名のお子さんの生年月をご記入ください。(口内に数字を記入、数字は一桁に一字)

「5歳以上」(33.6%)、「2歳」(17.7%)、「4歳」(17.5%)、「3歳」(14.5%)、「1歳」(12.9%)、「0歳」(3.9%)となっている。



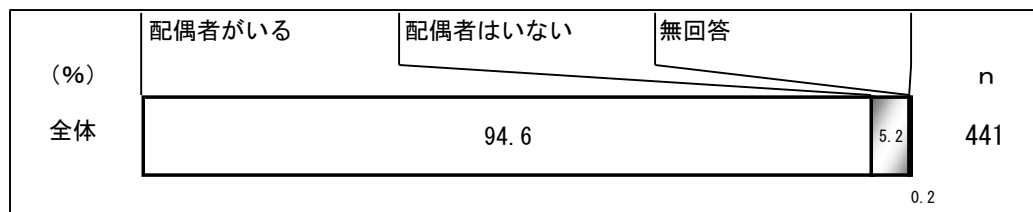
問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

「母親」(90.5%)、「父親」(9.5%)となっている。



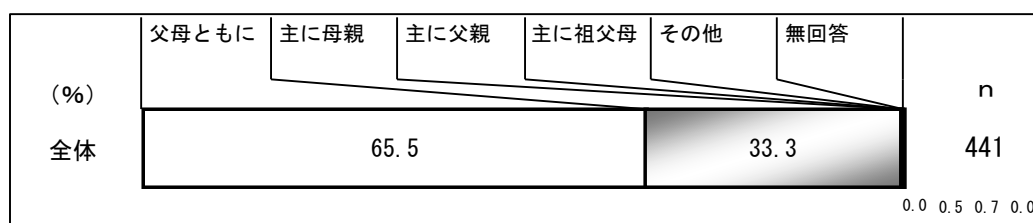
問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。(1つに○)

「配偶者がいる」(94.6%)、「配偶者はいない」(5.2%)となっている。



問5 宛名のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。(1つに○)

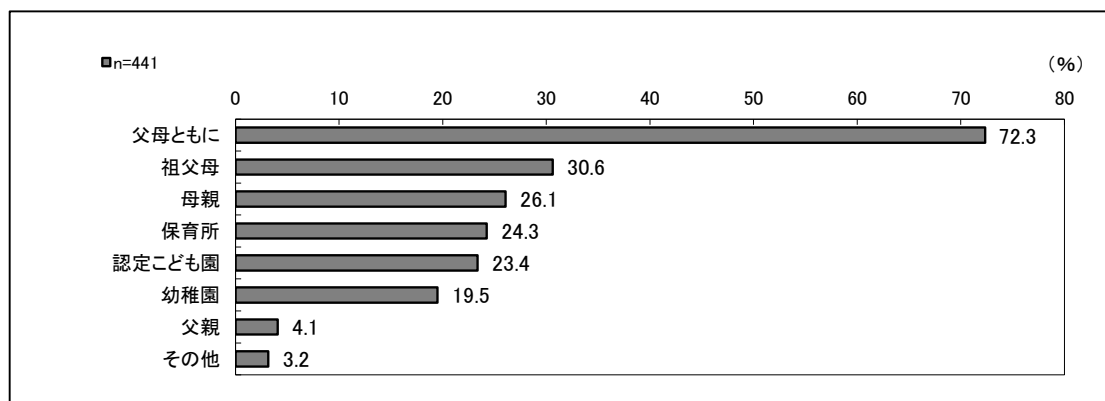
「父母ともに」(65.5%)、「主に母親」(33.3%)、「主に祖父母」(0.5%)となっている。



3 子どもの育ちをめぐる環境について

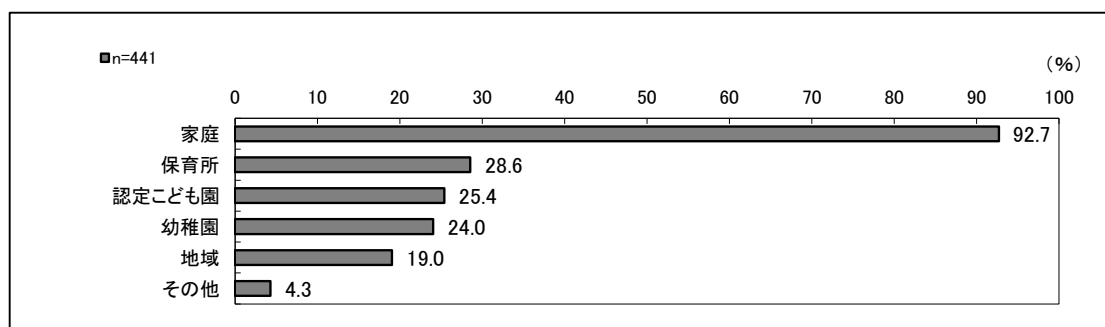
問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)に日常的に関わっている方はどなた(施設)ですか。お子さんからみた関係でお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

「父母ともに」(72.3%)、「祖父母」(30.6%)、「母親」(26.1%)、「保育所」(24.3%)、「認定こども園」(23.4%)、「幼稚園」(19.5%)、「父親」(4.1%)となっている。



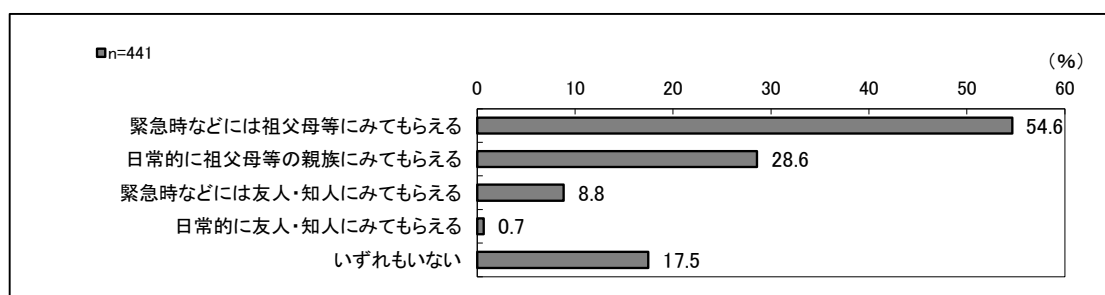
問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

「家庭」（92.7%）、「保育所」（28.6%）、「認定こども園」（25.4%）、「幼稚園」（24.0%）、「地域」（19.0%）となっている。



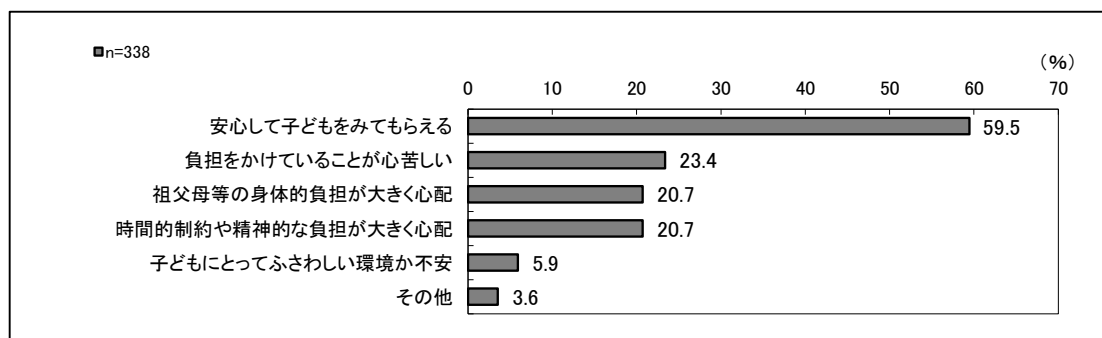
問8 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（あてはまる番号すべてに○）

「緊急時などには祖父母等にみてもらえる」（54.6%）、「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」（28.6%）、「緊急時などには友人・知人にみてもらえる」（8.8%）、「日常的に友人・知人にみてもらえる」（0.7%）となっている。なお、「いずれもない」は17.5%となっている。



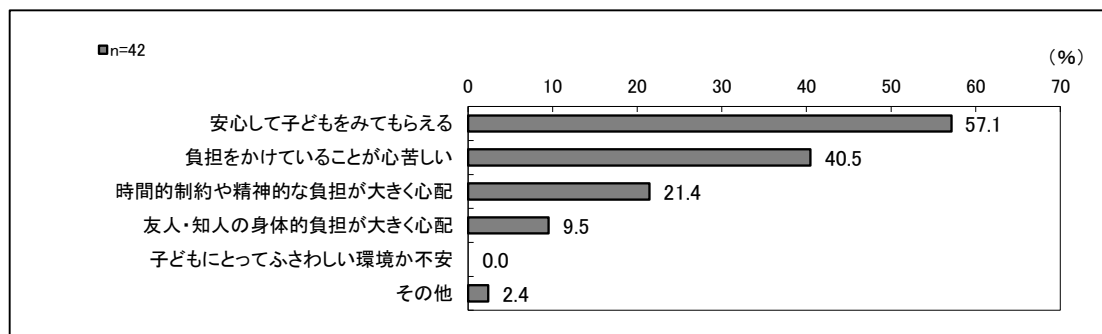
問8-1 問8で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

「安心して子どもをみてもらえる」(59.5%)、「負担をかけていることが心苦しい」(23.4%)、「祖父母等の身体的負担が大きく心配」「時間的制約や精神的な負担が大きく心配」(同率 20.7%)、「子どもにとってふさわしい環境か不安」(5.9%)となっている。



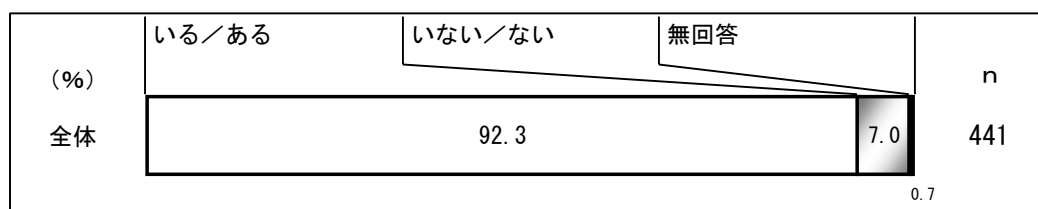
問8-2 問8で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

「安心して子どもをみてもらえる」(57.1%)、「負担をかけていることが心苦しい」(40.5%)、「時間的制約や精神的な負担が大きく心配」(21.4%)、「友人・知人の身体的負担が大きく心配」(9.5%)となっている。



問9 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。(1つに○)

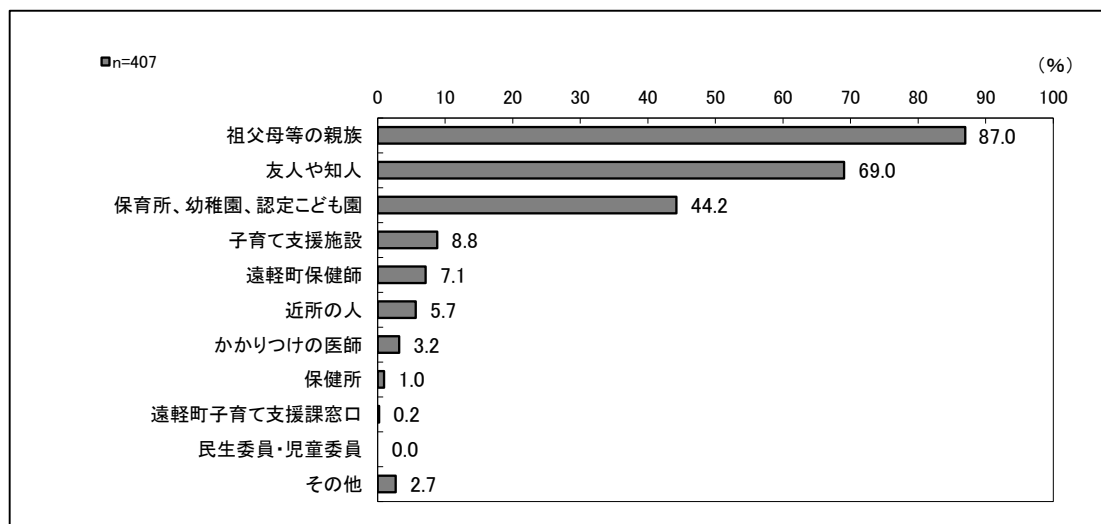
「いる／ある」(92.3%)、「いない／ない」(7.0%) となっている。



問9-1 問9で「1. いる／ある」に○をつけた方にうかがいます。

お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる先は、誰（どこ）ですか。（あてはまる番号3つまでに○）

「祖父母等の親族」(87.0%)、「友人や知人」(69.0%)、「保育所、幼稚園、認定こども園」(44.2%)、「子育て支援施設」(8.8%)、「遠軽町保健師」(7.1%)、「近所の人」(5.7%)、「かかりつけの医師」(3.2%)、「保健所」(1.0%)、「遠軽町子育て支援課窓口」(0.2%)となっている。

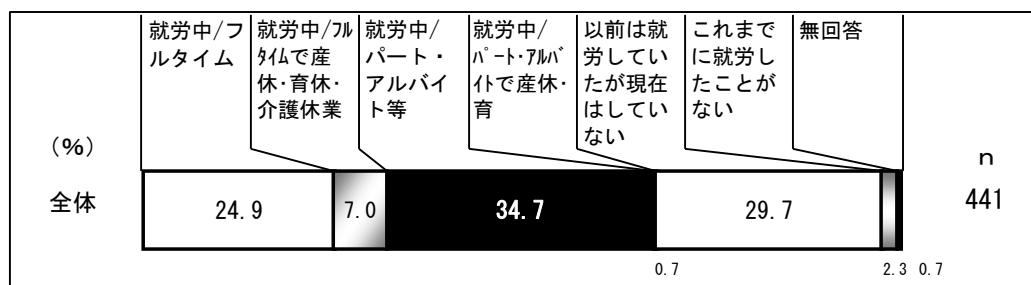


4 子どもの保護者の就労状況について

問10 宛名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、農業、家族従事者含む）についてお答えください。

（1）母親の就労状況

「就労中/パート・アルバイト等」(34.7%)、「以前は就労していたが現在はしていない」(29.7%)、「就労中/フルタイム」(24.9%)、「就労中/フルタイムで産休・育休・介護休業中」(7.0%)、「これまでに就労したことがない」(2.3%)、「就労中/パート・アルバイトで産休・育休・介護休業中」(0.7%) となっている。



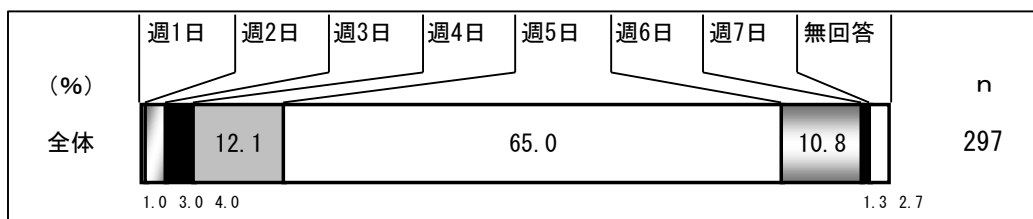
【前回調査との比較】

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が 36.9%で最も多く、次いで「就労中/パート・アルバイト等」が 26.9%、「就労中/フルタイム」が 26.2%となっており、未就業が減少する一方、「就労中/パート・アルバイト等」が増加している。

- (1) -1 (1)で「1. ～ 4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字を記入、数字は一桁に一字)

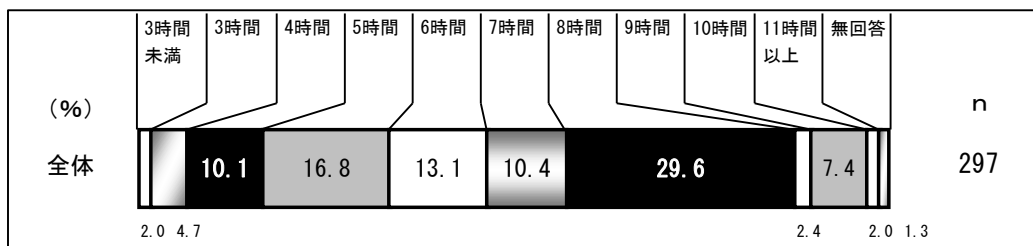
・就労日数

「週5日」(65.0%)、「週4日」(12.1%)、「週6日」(10.8%)、「週3日」(4.0%)、「週2日」(3.0%)、「週7日」(1.3%)、「週1日」(1.0%)となっている。



・1日当たり就労時間

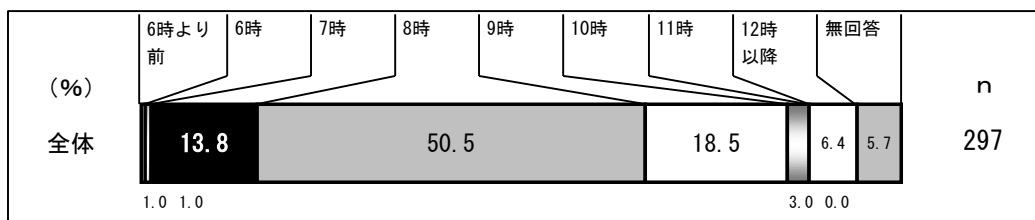
「8時間」(29.6%)、「5時間」(16.8%)、「6時間」(13.1%)、「7時間」(10.4%)、「4時間」(10.1%)、「10時間」(7.4%)、「3時間」(4.7%)、「9時間」(2.4%)、「3時間未満」・「11時間以上」(同率 2.0%)となっている。



(1) -2 (1) で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず(例)08 時～18 時のように、24 時間制でお答えください。(口内に数字を記入、数字は一桁に一字)

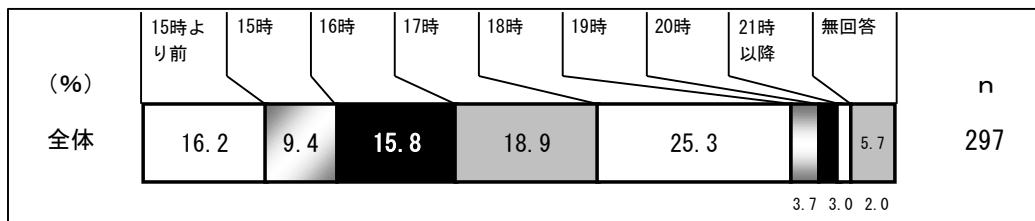
・家を出る時刻

「8 時」(50.5%)、「9 時」(18.5%)、「7 時」(13.8%)、「12 時以降」(6.4%)、「10 時」(3.0%)、「6 時より前」・「6 時」(同率 1.0%) となっている。



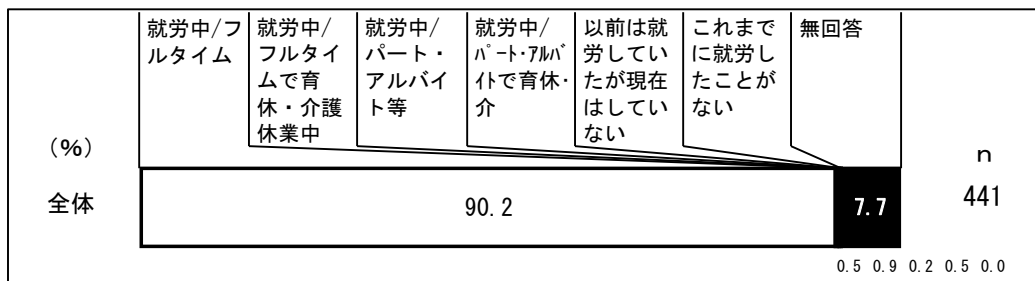
・帰宅時刻

「18 時」(25.3%)、「17 時」(18.9%)、「15 時より前」(16.2%)、「16 時」(15.8%)、「15 時」(9.4%)、「19 時」(3.7%)、「20 時」(3.0%)、「21 時以降」(2.0%) となっている。



(2) 父親の就労状況

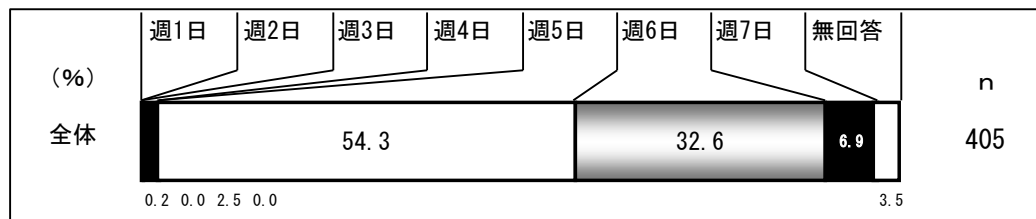
「就労中/フルタイム」(90.2%)、「就労中/パート・アルバイト等」(0.9%)、「就労中/フルタイムで育休・介護休業中」・「以前は就労していたが現在はしていない」(同率 0.5%)、「就労中/パート・アルバイトで育休・介護休業中」(0.2%) となっている。



(2) -1 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。(□内に数字を記入、数字は一枠に一字)

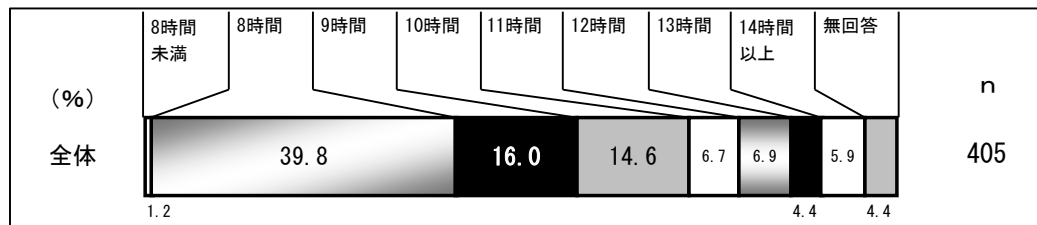
・就労日数

「週5日」(54.3%)、「週6日」(32.6%)、「週7日」(6.9%)、「週3日」(2.5%)、「週1日」(0.2%)となっている。



・1日当たり就労時間

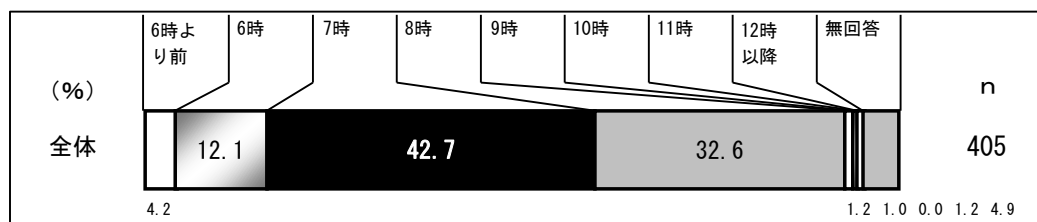
「8時間」(39.8%)、「9時間」(16.0%)、「10時間」(14.6%)、「12時間」(6.9%)、「11時間」(6.7%)、「14時間以上」(5.9%)、「13時間」(4.4%)、「8時間未満」(1.2%)となっている。



(2) -2 (2)で「1. ～4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず(例)08時～18時のように、24時間制でお答えください。(□内に数字を記入、数字は一枠に一字)

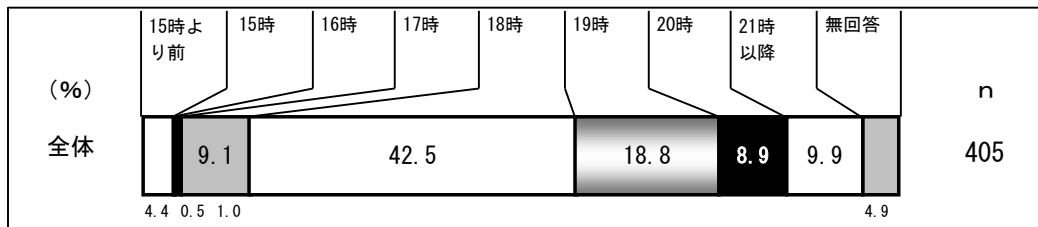
・家を出る時刻

「7時」(42.7%)、「8時」(32.6%)、「6時」(12.1%)、「6時より前」(4.2%)、「9時」・「12時以降」(同率1.2%)、「10時」(1.0%)となっている。



・帰宅時刻

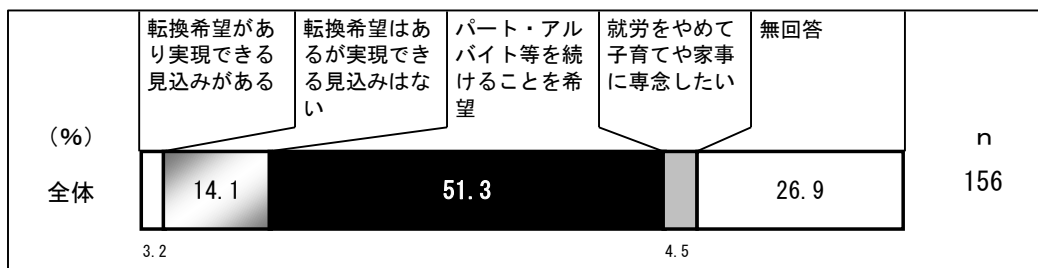
「18 時」(42.5%)、「19 時」(18.8%)、「21 時以降」(9.9%)、「17 時」(9.1%)、「20 時」(8.9%)、「15 時より前」(4.4%)、「16 時」(1.0%)、「15 時」(0.5%) となっている。



問 11 問 10 の (1) または (2) で「3. ～ 4.」(パート・アルバイト等で就労している) に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 12 へお進みください。
フルタイム (1 週 5 日程度・1 日 8 時間程度の就労) への転換希望はありますか。(1 つに○)

(1) 母親

「パート・アルバイト等を続けることを希望」(51.3%)、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」(14.1%)、「就労をやめて子育てや家事に専念したい」(4.5%)、「転換希望があり実現できる見込みがある」(3.2%) となっている。

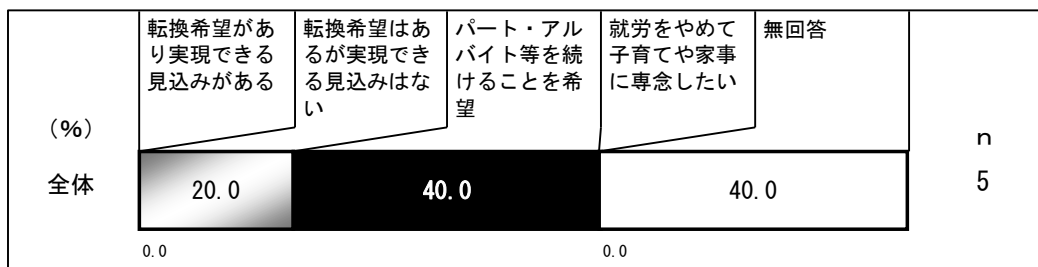


【前回調査との比較】

「パート・アルバイト等を続けることを希望」が 52.5% で最も多く、次いで「転換希望はあるが実現できる見込みはない」が 20.3%、「転換希望があり実現できる見込みがある」が 7.6% となっており、「転換希望がある」率は約 10 ポイント低下している。

(2) 父親

「パート・アルバイト等を続けることを希望」(40.0%)、「転換希望はあるが実現できる見込みはない」(20.0%) となっている。



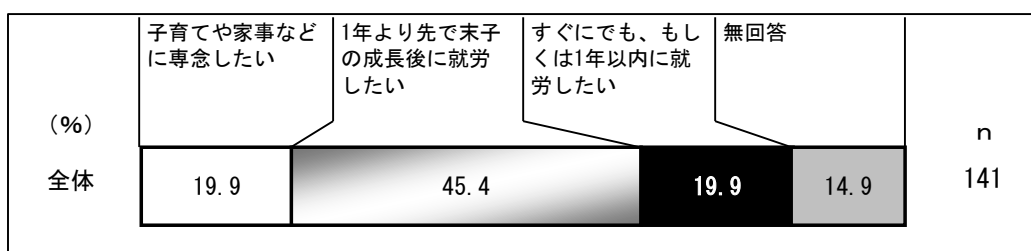
問 12 問 10 の（１）または（２）で「５．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「６．これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問 13 へお進みください。

就労したいという希望はありますか。（１つに○、該当する□内には数字を記入、数字は一桁に一字）

（１）母親

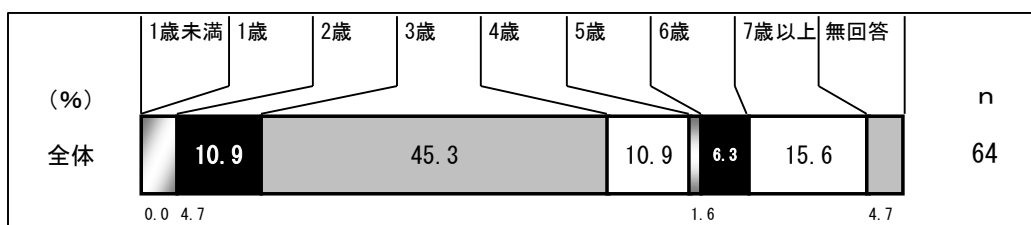
（１）-1 母親の就労希望について

「１年より先で末子の成長後に就労したい」（45.4%）、「子育てや家事などに専念したい」（19.9%）、「すぐにでも、もしくは１年以内に就労したい」（19.9%）となっている。



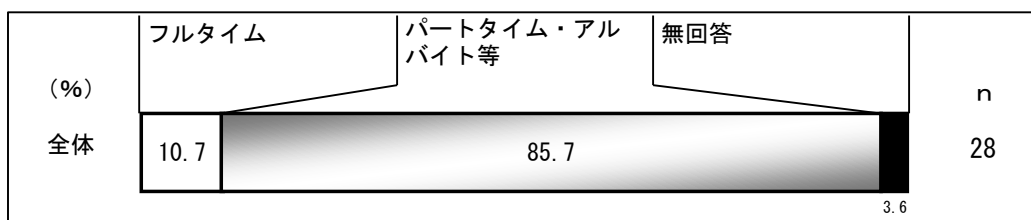
・就労希望時期：末子の年齢

「１年より先で末子の成長後に就労したい」と答えた方の、就労開始を希望する末子の年齢は、「３歳」（45.3%）、「７歳以上」（15.6%）、「２歳」（10.9%）、「４歳」（10.9%）、「６歳」（6.3%）、「１歳」（4.7%）、「５歳」（1.6%）となっている。



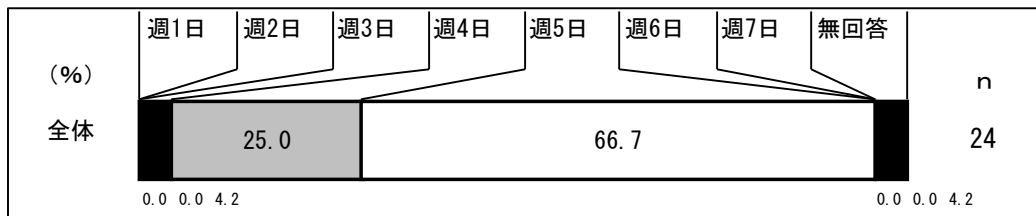
（１）-2 就労希望の形態

就労希望の形態は、「パートタイム・アルバイト等」（85.7%）、「フルタイム」（10.7%）となっている。



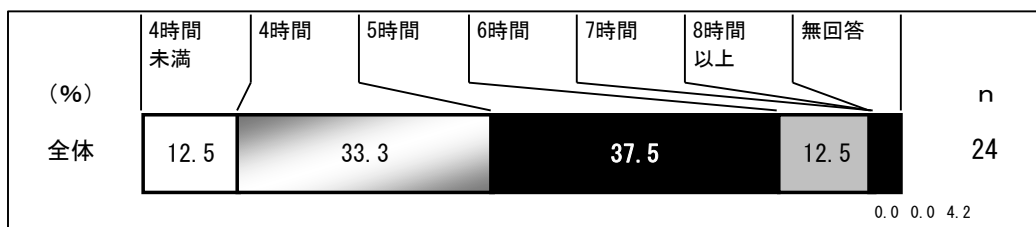
(1) -3 母親：アルバイト等：希望就労日数／週

アルバイト等を希望する方の週当たりの希望就労日数は、「週5日」(66.7%)、「週4日」(25.0%)、「週3日」(4.2%)となっている。



(1) -4 母親：アルバイト等：希望就労時間／日

1日当たりの希望就労時間は、「5時間」(37.5%)、「4時間」(33.3%)、「4時間未満」・「6時間」(同率12.5%)となっている。



(2) 父親

(2) -1 父親の就労希望について

※回答者なし

・就労希望時期：末子の年齢

※回答者なし

(2) -2 就労希望の形態

※回答者なし

(2) -3 父親：アルバイト等：希望就労日数／週

※回答者なし

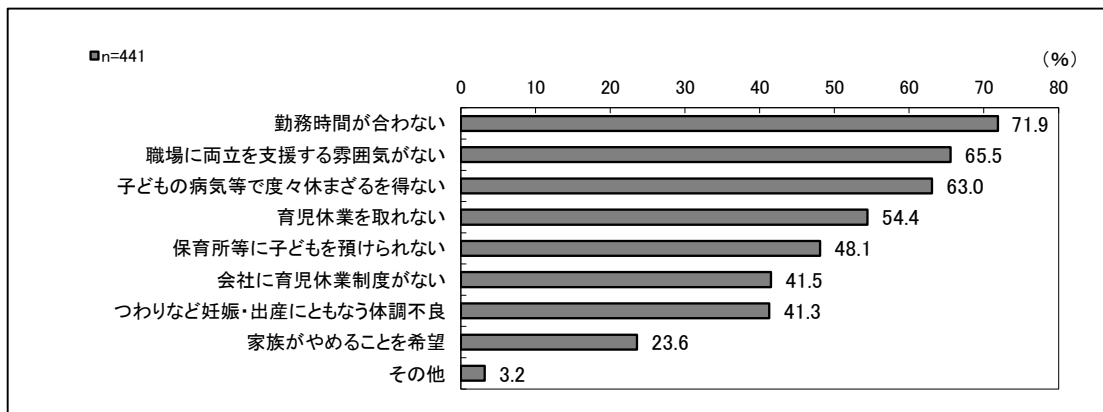
(2) -4 父親：アルバイト等：希望就労時間／日

※回答者なし

5 妊娠・出産・子育てと就労の継続について

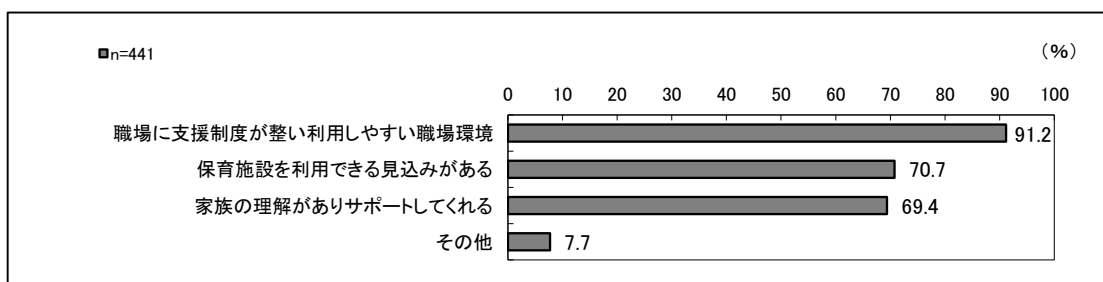
問 13 妊娠・出産・子育ての際に、離職せざるを得なくなるのは、どのような場合だと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

「勤務時間が合わない」(71.9%)、「職場に両立を支援する雰囲気がない」(65.5%)、「子どもの病気等で度々休まざるを得ない」(63.0%)、「育児休業を取れない」(54.4%)、「保育所等に子どもを預けられない」(48.1%)、「会社に育児休業制度がない」(41.5%)、「つわりなど妊娠・出産にともなう体調不良」(41.3%)、「家族がやめることを希望」(23.6%)となっている。



問 14 どのような環境が整っていたら、離職せず、就労を継続できると思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

「職場に支援制度が整い利用しやすい職場環境」(91.2%)、「保育施設を利用できる見込みがある」(70.7%)、「家族の理解がありサポートしてくれる」(69.4%)となっている。



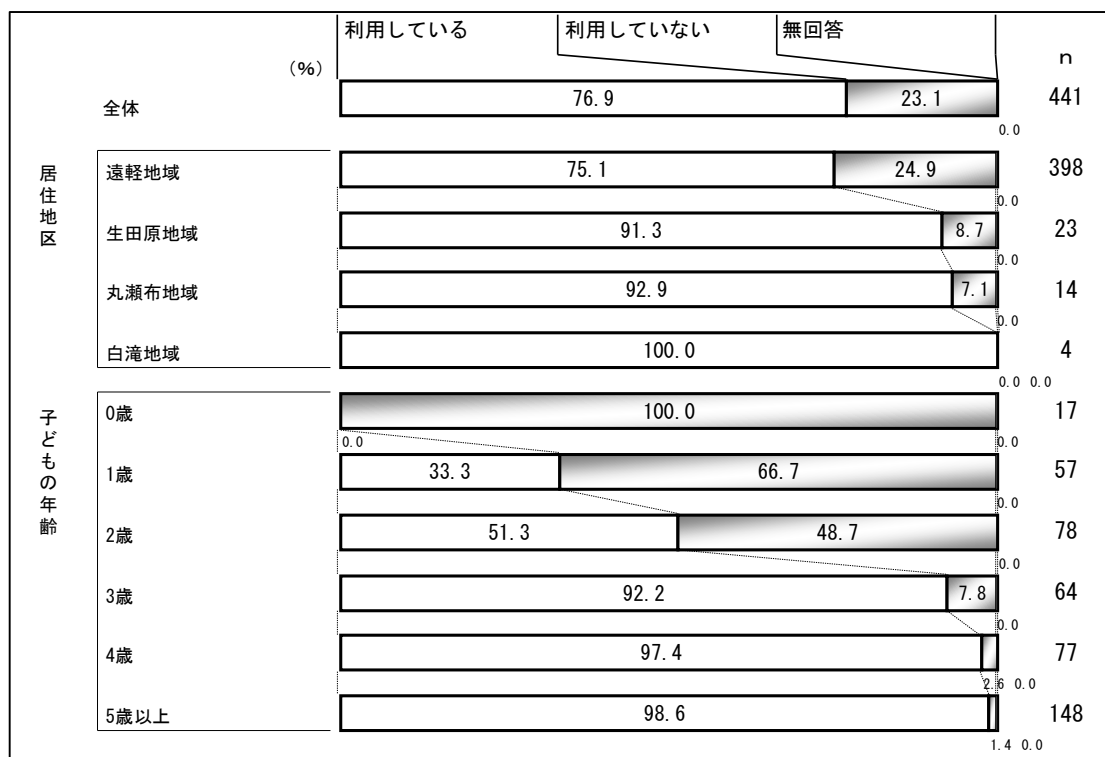
6 子どもの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 15 宛名のお子さんは現在、幼稚園や認定こども園、保育所などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。(1つに○)

定期的な教育・保育事業の利用状況は、「利用している」(76.9%)、「利用していない」(23.1%)となっている。

属性別で「利用している」率をみると、居住地区別では遠軽地域で7割台半ばにとどまる。

子どもの年齢別では、年齢の高さに比例して「利用している」率が高くなる傾向がみられる。



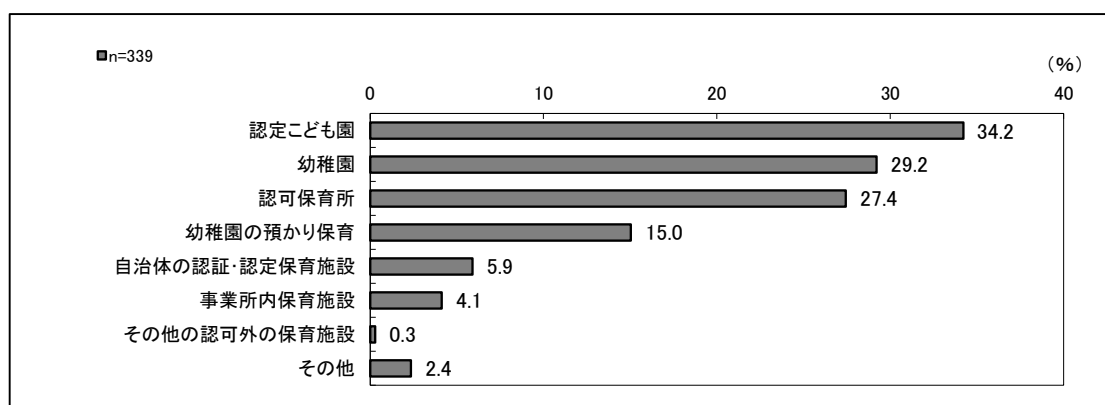
【前回調査との比較】

「利用している」が73.6%、「利用していない」が25.9%となっており、ほぼ同様の率である。

問 15-1～問 15-4 は、問 15 で「1. 利用している」に○をつけた方にうかがいます。

問 15-1 宛名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

現在利用している教育・保育の事業は、「認定こども園」(34.2%)、「幼稚園」(29.2%)、「認可保育所」(27.4%)、「幼稚園の預かり保育」(15.0%)、「自治体の認証・認定保育施設」(5.9%)、「事業所内保育施設」(4.1%)、「その他の認可外の保育施設」(0.3%)となっている。

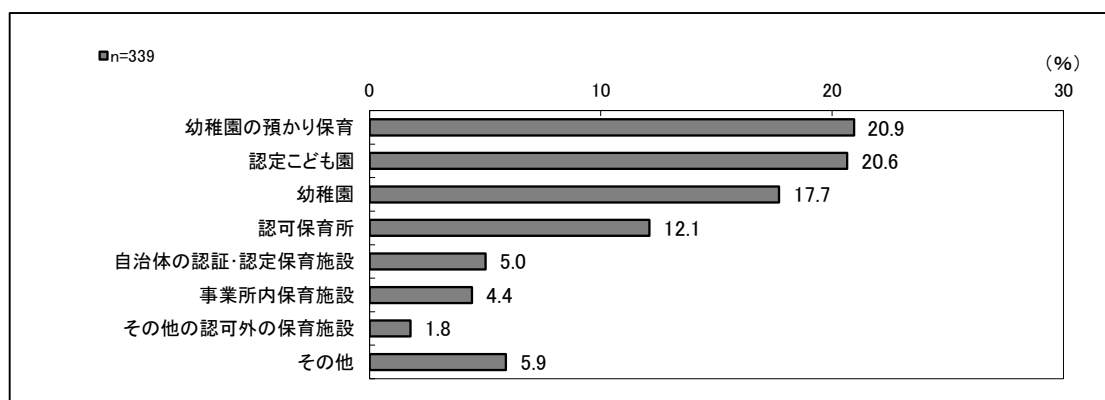


【前回調査との比較】

「幼稚園」・「認可保育所」が 43.7%（同率）で最も多く、次いで「幼稚園の預かり保育」が 16.6%となっており、「認定こども園」への移行がうかがえる。

問 15-2 教育・保育にかかる負担が無償（または上限ありの補助）となった場合、現在利用しているものから利用変更したいと思うものはありますか。（あてはまる番号すべてに○）

「幼稚園の預かり保育」(20.9%)、「認定こども園」(20.6%)、「幼稚園」(17.7%)、「認可保育所」(12.1%)、「自治体の認証・認定保育施設」(5.0%)、「事業所内保育施設」(4.4%)、「その他の認可外の保育施設」(1.8%)となっている。

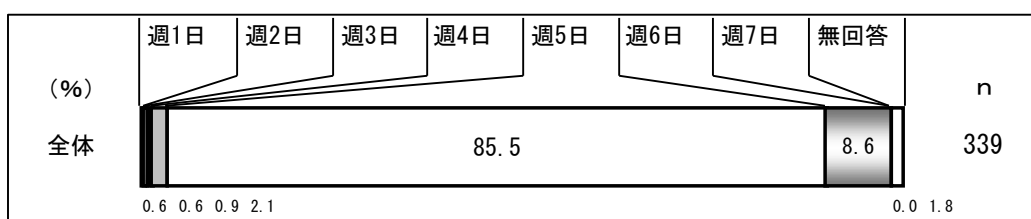


問 15-3 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。1 週当たり何日、1 日当たり何時間（何時から何時まで）か、お答えください。時間は必ず（例）09 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。（口内に数字を記入、数字は一桁に一字）

（１）現在

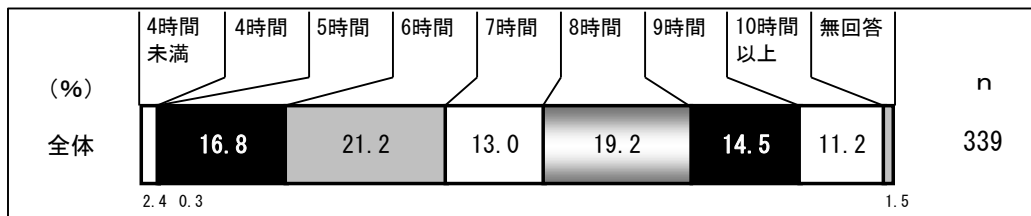
（１）-1 現在の利用日数／週

「5 日」（85.5%）、「6 日」（8.6%）、「4 日」（2.1%）、「3 日」（0.9%）、「1 日」・「2 日」（同率 0.6%）となっている。



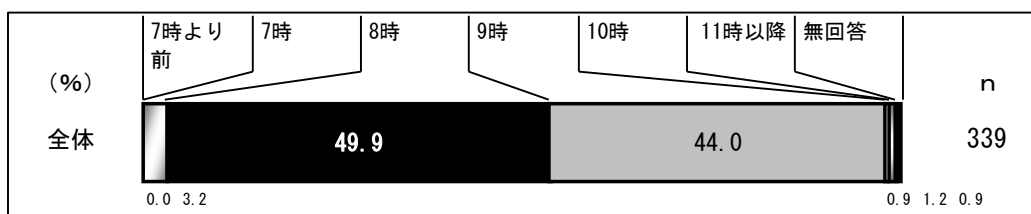
（１）-2 現在の利用時間／日

「6 時間」（21.2%）、「8 時間」（19.2%）、「5 時間」（16.8%）、「9 時間」（14.5%）、「7 時間」（13.0%）、「10 時間以上」（11.2%）、「4 時間未満」（2.4%）、「4 時間」（0.3%）となっている。



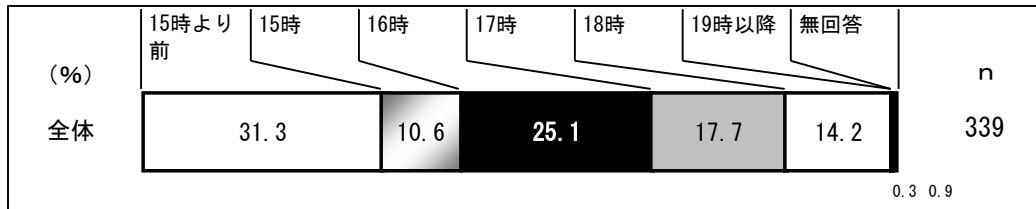
（１）-3 現在の開始時刻

「8 時」（49.9%）、「9 時」（44.0%）、「7 時」（3.2%）、「11 時以降」（1.2%）、「10 時」（0.9%）となっている。



(1) -4 現在の終了時刻

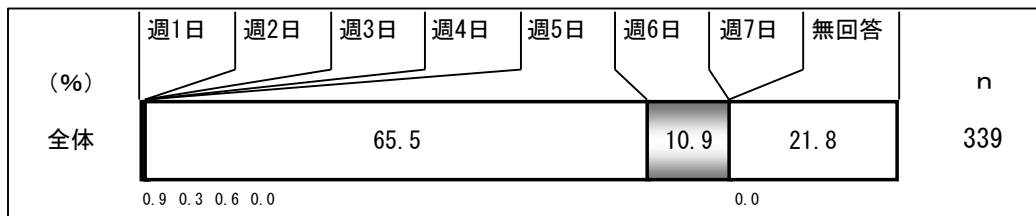
「15時より前」(31.3%)、「16時」(25.1%)、「17時」(17.7%)、「18時」(14.2%)、「15時」(10.6%)、「19時以降」(0.3%) となっている。



(2) 希望

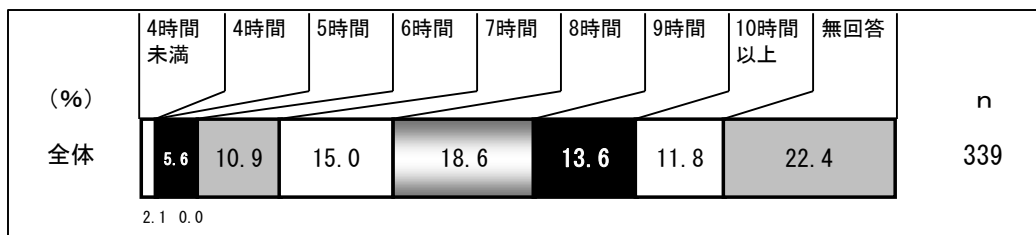
(2) -1 希望の利用日数／週

「週5日」(65.5%)、「週6日」(10.9%)、「週1日」(0.9%)、「週3日」(0.6%)、「週2日」(0.3%) となっている。



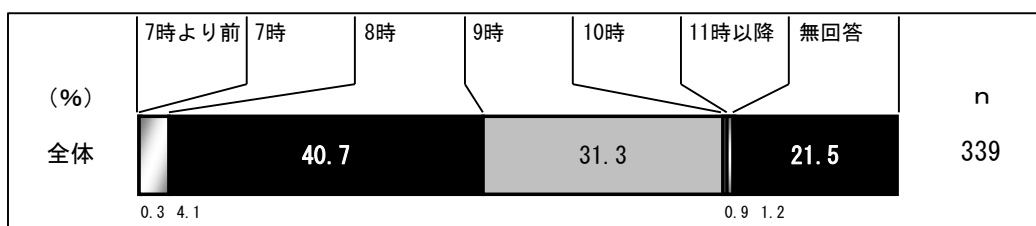
(2) -2 希望の利用時間／日

「8時間」(18.6%)、「7時間」(15.0%)、「9時間」(13.6%)、「10時間以上」(11.8%)、「6時間」(10.9%)、「5時間」(5.6%)、「4時間未満」(2.1%) となっている。



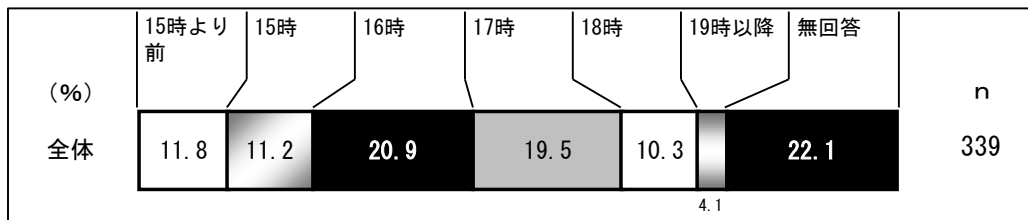
(2) -3 希望の開始時刻

「8時」(40.7%)、「9時」(31.3%)、「7時」(4.1%)、「11時以降」(1.2%)、「10時」(0.9%)、「7時より前」(0.3%) となっている。



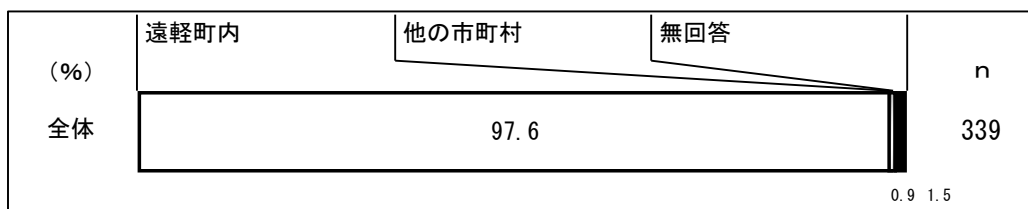
(2) -4 希望の終了時刻

「16時」(20.9%)、「17時」(19.5%)、「15時より前」(11.8%)、「15時」(11.2%)、「18時」(10.3%)、「19時以降」(4.1%)となっている。



問 15-4 現在、利用している教育・保育事業の実施場所をお答えください。(1つに○)

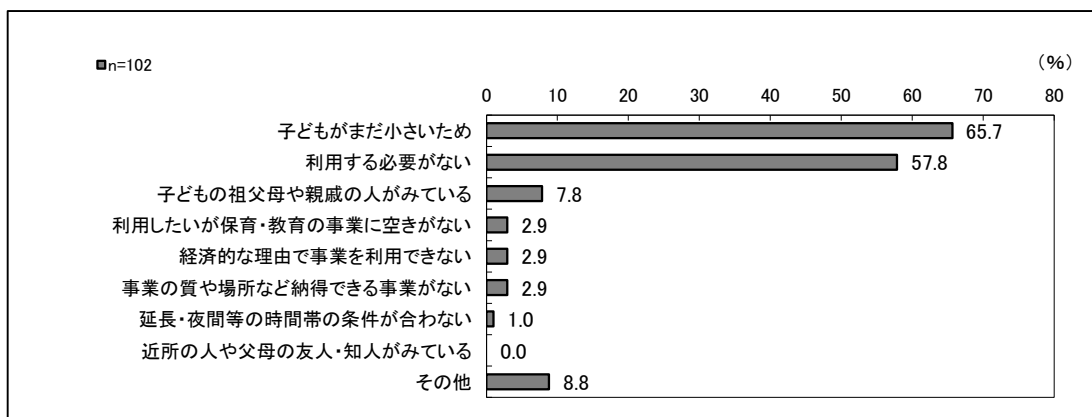
「遠軽町内」(97.6%)、「他の市町村」(0.9%)となっている。



問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」に○をつけた方にうかがいます。

利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○、該当する口内には数字を記入)

「子どもがまだ小さいため」(65.7%)、「利用する必要がない」(57.8%)、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」(7.8%)、「利用したいが保育・教育の事業に空きがない」・「経済的な理由で事業を利用できない」・「事業の質や場所など納得できる事業がない」(同率 2.9%)、「延長・夜間等の時間帯の条件が合わない」(1.0%)となっている。

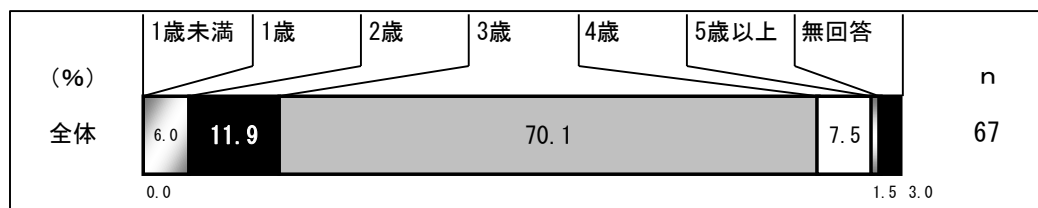


【前回調査との比較】

「子どもがまだ小さいため」が74.0%で最も多く、次いで「(子どもの教育や発達のため、子どもの母親か父親が就労していないなどの理由で) 利用する必要がない」が31.7%となっており、利用する必要がないとの率が高くなっている。

・利用開始時期（子どもの年齢）

問15-5で「8. 子どもがまだ小さいため」と答えた方に、何歳くらいになったら利用しようと考えているか、たずねたところ、「3歳」(70.1%)、「2歳」(11.9%)、「4歳」(7.5%)、「1歳」(6.0%)、「5歳以上」(1.5%)となっている。

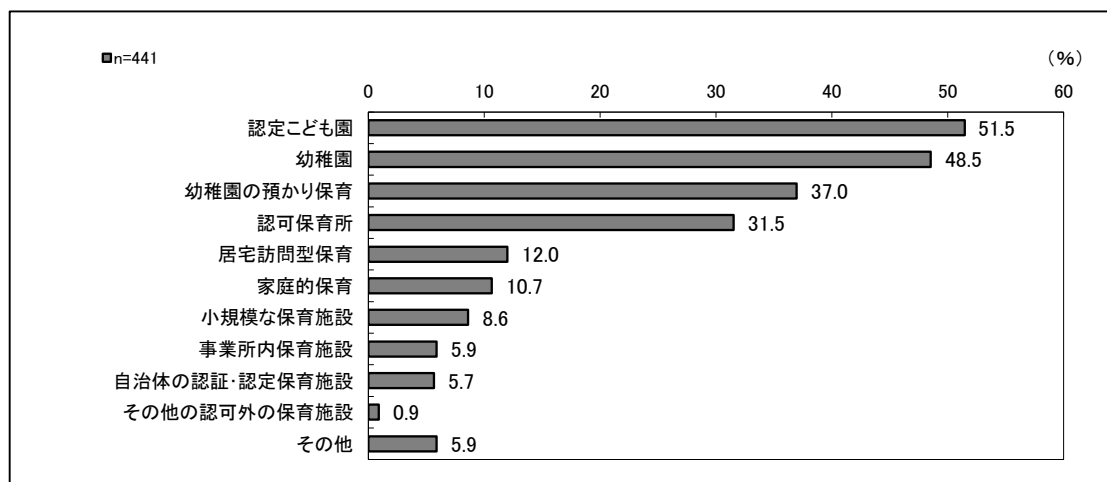


問16 すべての方にうかがいます。現在、利用している、利用していないにかかわらず、宛名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業をお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(あてはまる番号すべてに○)

「認定こども園」(51.5%)、「幼稚園」(48.5%)、「幼稚園の預かり保育」(37.0%)、「認可保育所」(31.5%)、「居宅訪問型保育」(12.0%)、「家庭的保育」(10.7%)、「小規模な保育施設」(8.6%)、「事業所内保育施設」(5.9%)、「自治体の認証・認定保育施設」(5.7%)、「その他の認可外の保育施設」(0.9%)となっている。

属性別でみると、居住地区別では遠軽地域で「認定こども園」、生田原地域、丸瀬布地域で「認可保育所」、白滝地域で「自治体の認証・認定保育施設」が第1位となっている。

子どもの年齢別では0歳、2歳、3歳で「幼稚園」、1歳、4歳、5歳以上で「認定こども園」が第1位となっている。



(上位3位、単位：%)

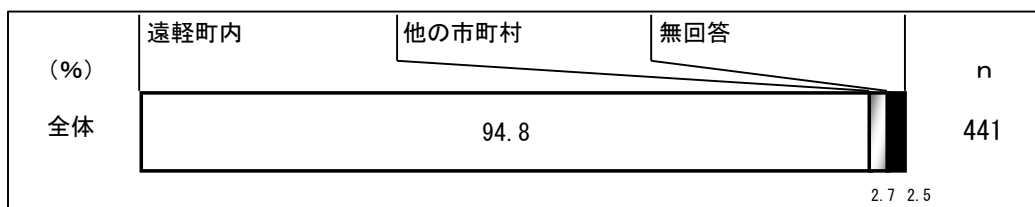
		第1位	第2位	第3位
全体		認定こども園 51.5	幼稚園 48.5	幼稚園の預かり保育 37.0
居住地区	遠軽地域	認定こども園 54.5	幼稚園 50.5	幼稚園の預かり保育 39.4
	生田原地域	認可保育所 60.9	幼稚園 30.4	自治体の認証・認定保育施設／居宅訪問型保育 26.1
	丸瀬布地域	認可保育所 50.0	認定こども園 42.9	幼稚園 35.7
	白滝地域	自治体の認証・認定保育施設 75.0	認可保育所 25.0	
子どもの年齢	0歳	幼稚園 58.8	幼稚園の預かり保育 52.9	認定こども園 47.1
	1歳	認定こども園 50.9	認可保育所 43.9	幼稚園 38.6
	2歳	幼稚園 61.5	認定こども園 57.7	幼稚園の預かり保育 41.0
	3歳	幼稚園 57.8	認定こども園 53.1	幼稚園の預かり保育 46.9
	4歳	認定こども園 53.2	幼稚園 39.0	幼稚園の預かり保育 33.8
	5歳以上	認定こども園 47.3	幼稚園 45.3	幼稚園の預かり保育 35.8

【前回調査との比較】

「幼稚園」が56.4%で最も多く、次いで「認可保育所」が44.4%、「幼稚園の預かり保育」が33.9%となっており、「幼稚園」や「認可保育所」から「認定こども園」への移行がうかがえる。

問16-1 教育・保育事業を利用したい場所をお答えください。(1つに○)

「遠軽町内」(94.8%)、「他の市町村」(2.7%)となっている。



7 地域の子育て支援事業の利用状況

問 17 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。(①～⑤の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、あてはまるもの1つに○)

回答結果は以下のとおりとなっている。

・ A 知っている事業

「知っている」率が高い順にみると、「母親（父親）学級、育児学級」(72.1%)、「子育ての各相談窓口」(66.4%)、「母子保健事業の情報・相談事業」(62.4%)、「教育相談室」(44.0%)、「家庭教育に関する学級・講座」(35.8%)となっている。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
① 母親（父親）学級、育児学級	72.1	22.0	5.9	441
② 母子保健事業の情報・相談事業	62.4	32.2	5.4	441
③ 家庭教育に関する学級・講座	35.8	59.2	5.0	441
④ 教育相談室	44.0	50.8	5.2	441
⑤ 子育ての各相談窓口	66.4	28.3	5.2	441

【前回調査との比較】

「母親（父親）学級、育児学級」(84.0%)は10ポイント以上低下、一方、「子育ての各相談窓口」(49.4%)は15ポイント以上高くなっている。

・ B これまでに利用したことがある事業

「これまでに利用したことがある」率が高い順にみると、「母親（父親）学級、育児学級」(38.3%)、「母子保健事業の情報・相談事業」(30.4%)、「子育ての各相談窓口」(12.0%)、「家庭教育に関する学級・講座」(6.8%)、「教育相談室」(5.7%)となっている。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
① 母親（父親）学級、育児学級	38.3	52.4	9.3	441
② 母子保健事業の情報・相談事業	30.4	57.6	12.0	441
③ 家庭教育に関する学級・講座	6.8	80.3	12.9	441
④ 教育相談室	5.7	81.4	12.9	441
⑤ 子育ての各相談窓口	12.0	75.5	12.5	441

・C 今後利用したい事業

「今後利用したい」率が高い順にみると、「子育ての各相談窓口」(42.2%)、「母子保健事業の情報・相談事業」(38.3%)、「教育相談室」(35.8%)、「母親（父親）学級、育児学級」・「家庭教育に関する学級・講座」(同率 31.1%) となっている。

(%)	はい	いいえ	無回答	n
① 母親（父親）学級、育児学級	31.1	55.8	13.2	441
② 母子保健事業の情報・相談事業	38.3	48.1	13.6	441
③ 家庭教育に関する学級・講座	31.1	55.3	13.6	441
④ 教育相談室	35.8	51.0	13.2	441
⑤ 子育ての各相談窓口	42.2	44.7	13.2	441

8 土曜・休日や長期休み中の教育・保育事業の利用希望について

問 18 宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか（一時的な利用は除きます）。（1つに○）また、希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。時間は(例)09時～18時のように24時間制でお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生することもあります。（□内に数字を記入、数字は一桁に一字）

※ 保育・教育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人による預かりは含みません。

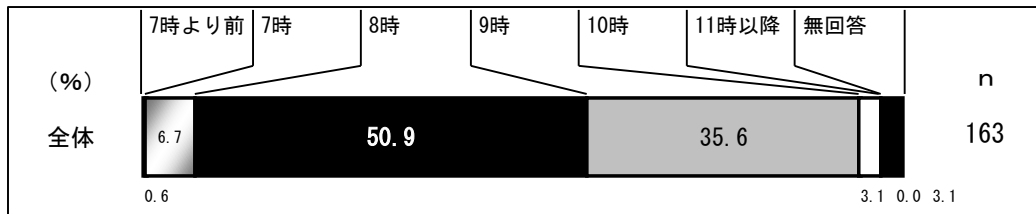
（1） 利用希望：土曜日

「利用する必要はない」(61.5%)、「月に1～2回は利用したい」(28.6%)、「ほぼ毎週利用したい」(8.4%) となっている。

(%)	利用する必要はない	ほぼ毎週利用したい	月に1～2回は利用したい	無回答	n
全体	61.5	8.4	28.6	1.6	441

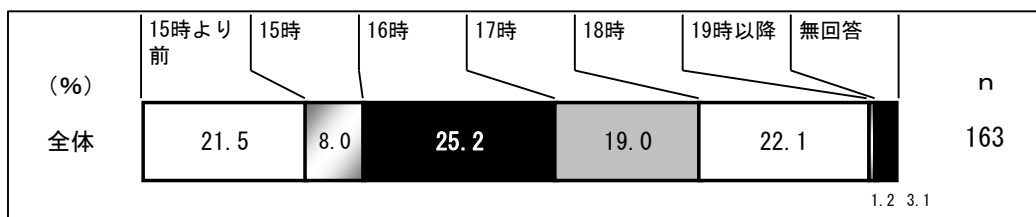
(1) -1 利用希望：土曜日：開始時刻

「8時」(50.9%)、「9時」(35.6%)、「7時」(6.7%)、「10時」(3.1%)、「7時より前」(0.6%) となっている。



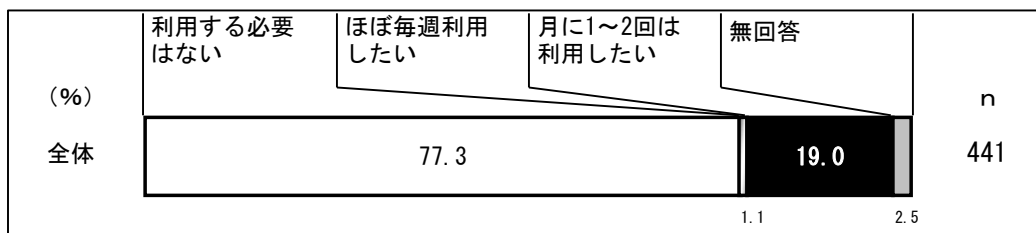
(1) -2 利用希望：土曜日：終了時刻

「16時」(25.2%)、「18時」(22.1%)、「15時より前」(21.5%)、「17時」(19.0%)、「15時」(8.0%)、「19時以降」(1.2%) となっている。



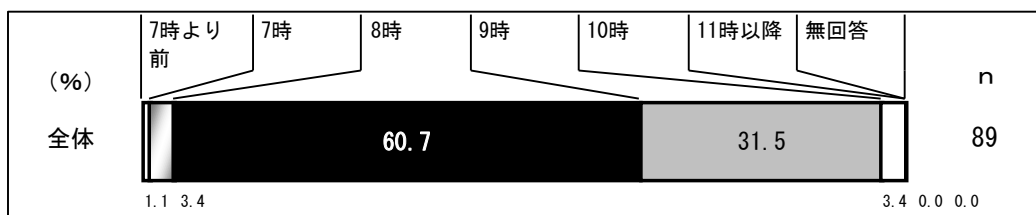
(2) 利用希望：日曜・祝日

「利用する必要はない」(77.3%)、「月に1～2回は利用したい」(19.0%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.1%) となっている。



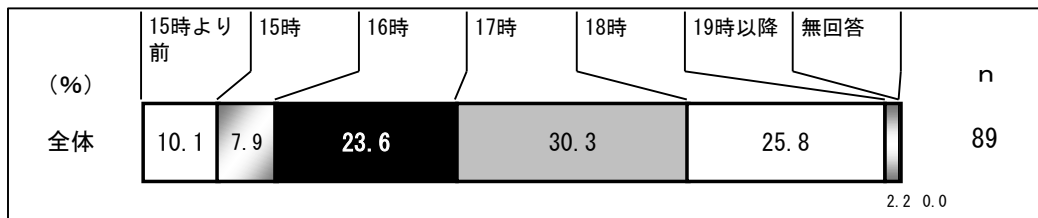
(2) -1 利用希望：日曜・祝日：開始時刻

「8時」(60.7%)、「9時」(31.5%)、「7時」(3.4%)、「10時」(3.4%)、「7時より前」(1.1%) となっている。



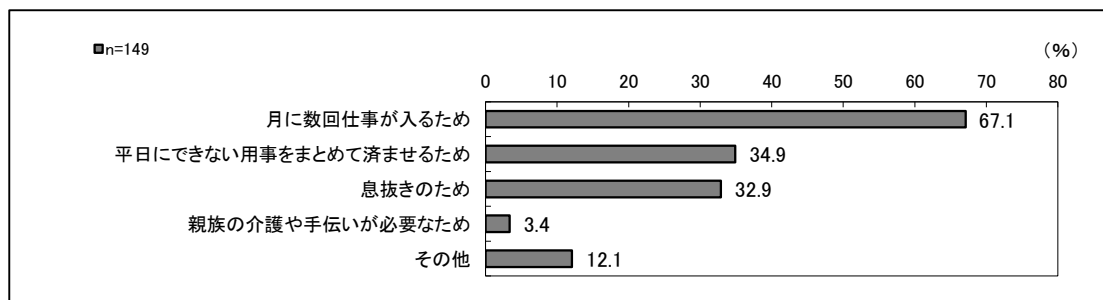
(2) -2 利用希望：日曜・祝日：終了時刻

「17時」(30.3%)、「18時」(25.8%)、「16時」(23.6%)、「15時より前」(10.1%)、「15時」(7.9%)、「19時以降」(2.2%)となっている。



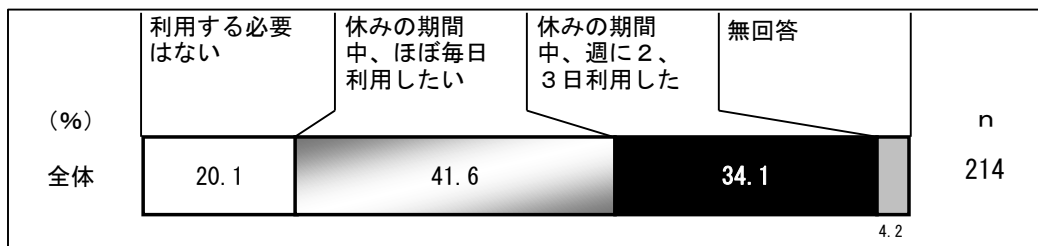
問18-1 問18の(1)もしくは(2)で、「3.月に1～2回は利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「月に数回仕事が入るため」(67.1%)、「平日にできない用事をまとめて済ませるため」(34.9%)、「息抜きのため」(32.9%)、「親族の介護や手伝いが必要なため」(3.4%)となっている。



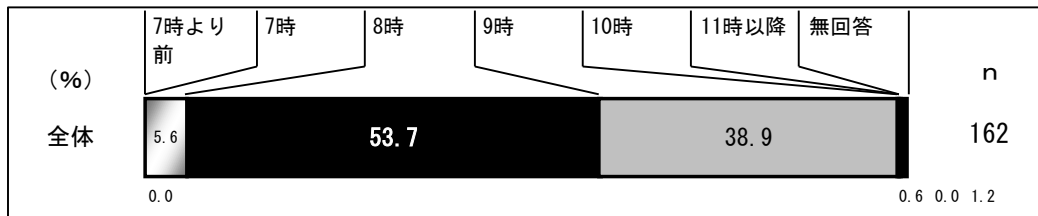
問19 「幼稚園(認定こども園を含む)」を利用されている方にうかがいます。宛名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期の休み期間中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。(1つに○) また、希望がある場合は、利用したい時間帯をお答えください。時間は(例)09時～18時のように24時間制でお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。(口内に数字を記入、数字は一桁に一字)

「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」(41.6%)、「休みの期間中、週に2、3日利用したい」(34.1%)、「利用する必要はない」(20.1%)となっている。



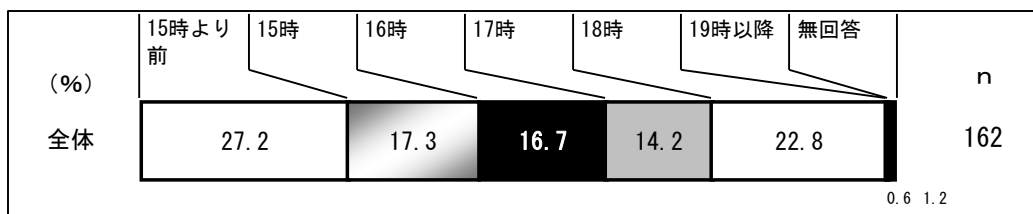
(1) -1 長期休暇期間中：開始時刻

「8時」(53.7%)、「9時」(38.9%)、「7時」(5.6%)、「10時」(0.6%) となっている。



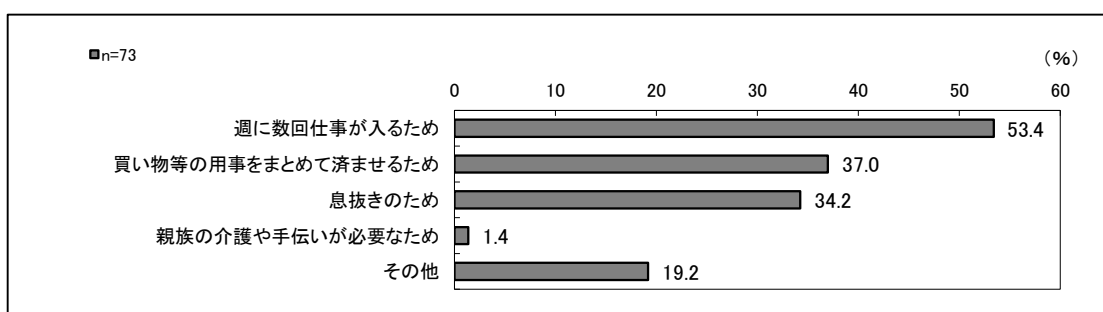
(1) -2 長期休暇期間中：終了時刻

「15時より前」(27.2%)、「18時」(22.8%)、「15時」(17.3%)、「16時」(16.7%)、「17時」(14.2%)、「19時以降」(0.6%) となっている。



問 19-1 問 19 で、「3. 週に数日利用したい」に○をつけた方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「週に数回仕事が入るため」(53.4%)、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」(37.0%)、「息抜きのため」(34.2%)、「親族の介護や手伝いが必要なため」(1.4%) となっている。

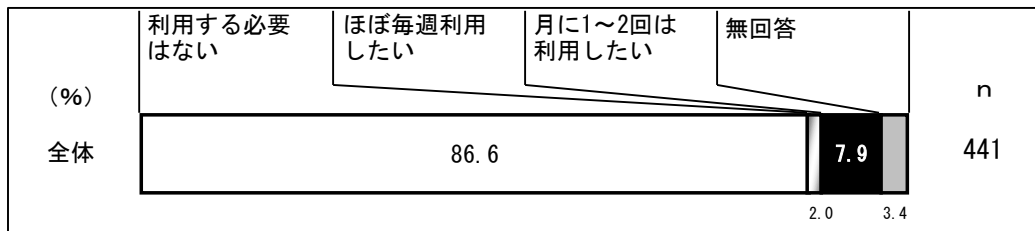


9 夜間保育の利用希望について

問 20 宛名のお子さんについて、夜間（保育所の延長保育の終了後）の保育事業を行うとしたら、利用希望はありますか（現在は町では実施しておりません）。（1つに○）また、希望がある場合は、利用したい時間帯を、（例）09時～18時のように24時間制でお答えください。なお、これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生することもあります。（□内に数字を記入、数字は一枠に一字）

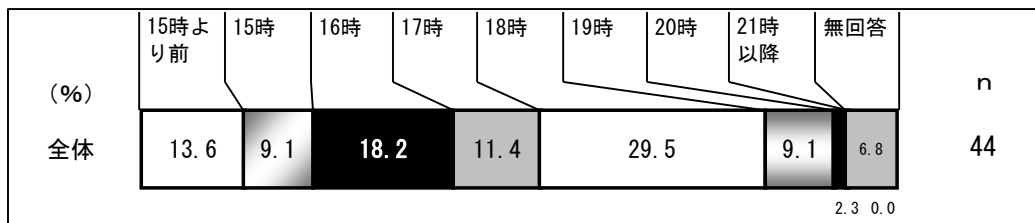
（1） 利用希望：平日の夜間保育

「利用する必要はない」（86.6%）、「月に1～2回は利用したい」（7.9%）、「ほぼ毎週利用したい」（2.0%）となっている。



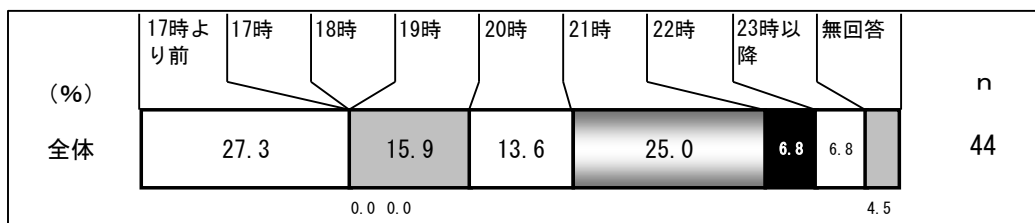
（1）-1 利用希望：平日の夜間保育：開始時刻

「18時」（29.5%）、「16時」（18.2%）、「15時より前」（13.6%）、「17時」（11.4%）、「15時」・「19時」（同率9.1%）、「20時」（2.3%）となっている。



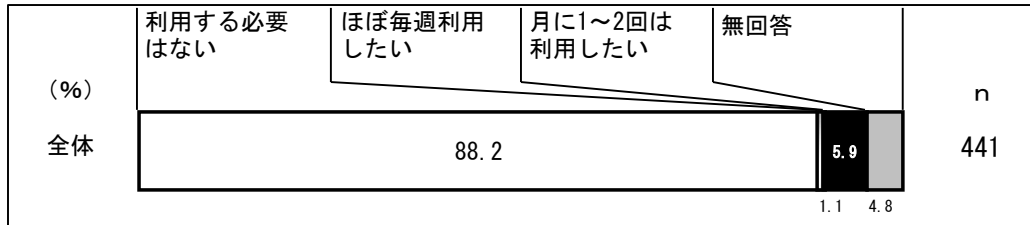
（1）-2 利用希望：平日の夜間保育：終了時刻

「17時より前」（27.3%）、「21時」（25.0%）、「19時」（15.9%）、「20時」（13.6%）、「22時」・「23時以降」（同率6.8%）となっている。



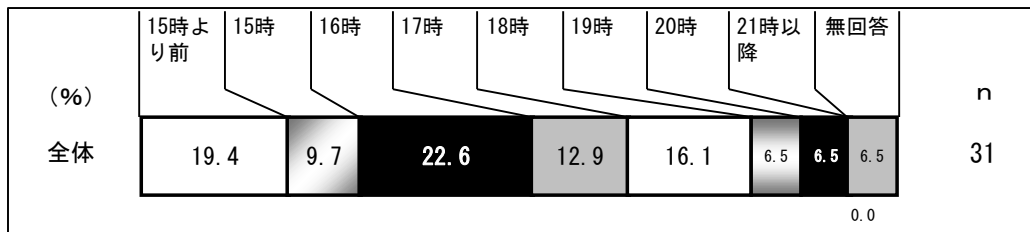
(2) 利用希望：土曜日・日曜日・祝日の夜間保育

「利用する必要はない」(88.2%)、「月に1～2回は利用したい」(5.9%)、「ほぼ毎週利用したい」(1.1%)となっている。



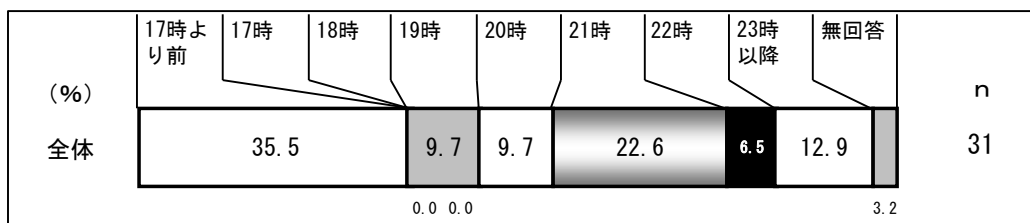
(2)-1 利用希望：土曜日・日曜日・祝日の夜間保育：開始時刻

「16時」(22.6%)、「15時より前」(19.4%)、「18時」(16.1%)、「17時」(12.9%)、「15時」(9.7%)、「19時」・「20時」(同率6.5%)となっている。



(2)-2 利用希望：土曜日・日曜日・祝日の夜間保育：終了時刻

「17時より前」(35.5%)、「21時」(22.6%)、「23時以降」(12.9%)、「19時」(9.7%)、「20時」(9.7%)、「22時」(6.5%)となっている。



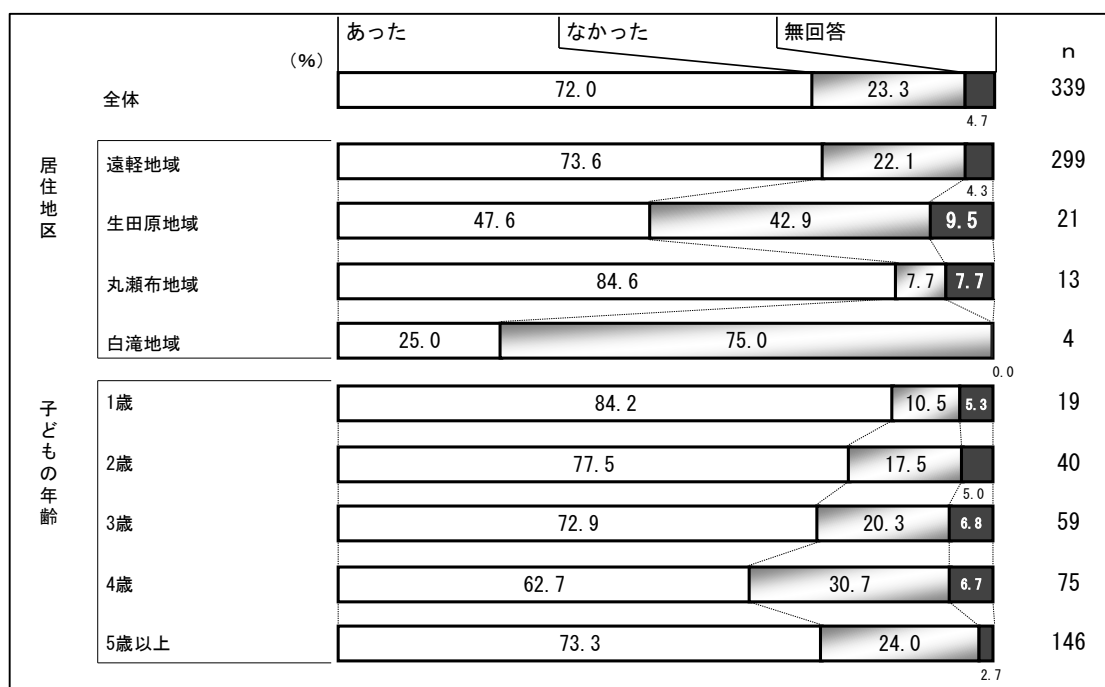
10 子どもの病気の際の対応について

問 21 平日の定期的な教育・保育の事業を利用していると答えた保護者の方（問 15 で 1. に○をつけた方）にうかがいます。利用していない方は、問 22 にお進みください。この 1 年間に、宛名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（1 つに○）

「あった」（72.0%）、「なかった」（23.3%）となっている。

属性別で「あった」率をみると、居住地区別では遠軽地域、丸瀬布地域で 7 割を超える。

子どもの年齢別では、各年齢において 6 ～ 7 割程度となっている。



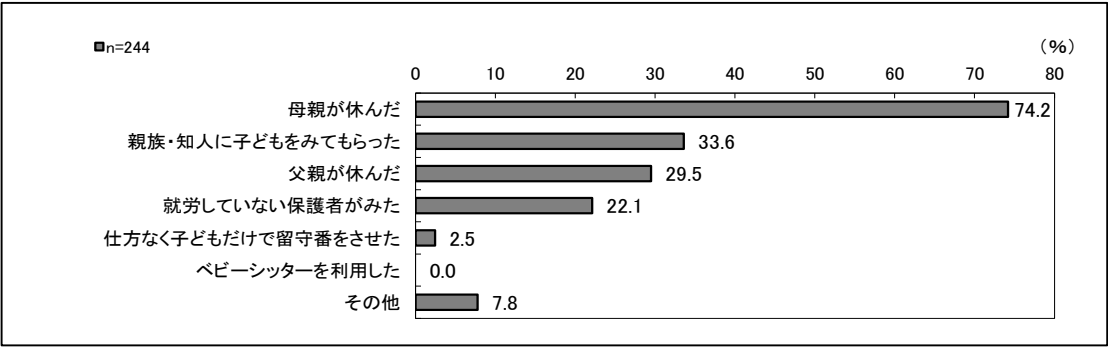
※「0歳」は回答者なし

【前回調査との比較】

「あった」が 70.5%、「なかった」が 25.4%となっており、同様の率となっている。

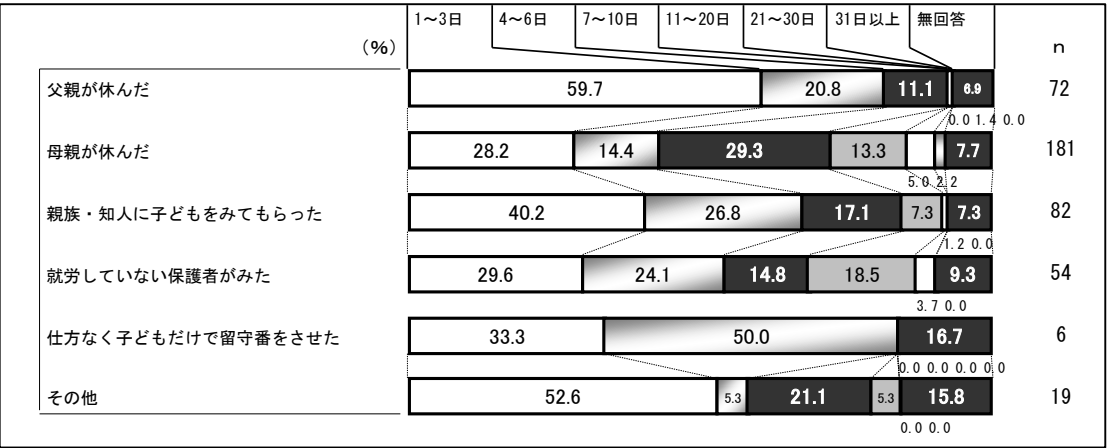
問 21-1 宛名のお子さんが病気やケガで普段利用している教育・保育の事業が利用できなかった場合に、この１年間に行った対処方法をお答えください。半日程度の対応の場合も１日とカウントしてください。（あてはまる番号すべてに○、それぞれの日数を口内に数字で記入）

「母親が休んだ」（74.2%）、「親族・知人に子どもをみてもらった」（33.6%）、「父親が休んだ」（29.5%）、「就労していない保護者がみた」（22.1%）、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」（2.5%）となっている。



・ 日数

日数については、以下の通りとなっている。

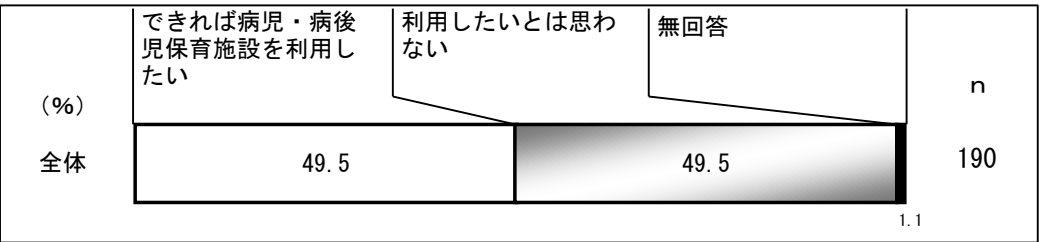


※ 「ベビーシッターを利用した」は回答者なし

問 21-1 で「1.」、「2.」のいずれかに回答した方にうかがいます。

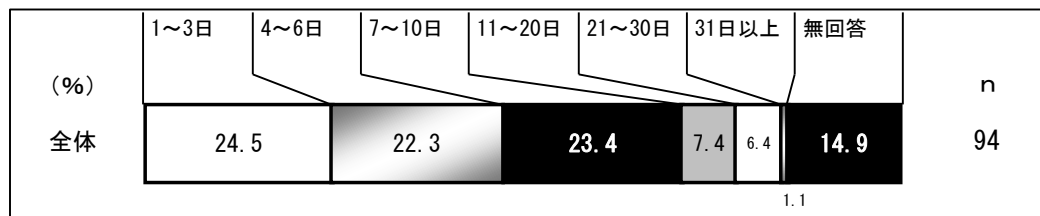
問 21-2 その際、「病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
 なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。（現在、遠軽町は実施しておりません。）（１つに○、日数についても口内に数字で記入）

「できれば病児・病後児保育施設を利用したい」と「利用したいとは思わない」が、同率 49.5%となっている。



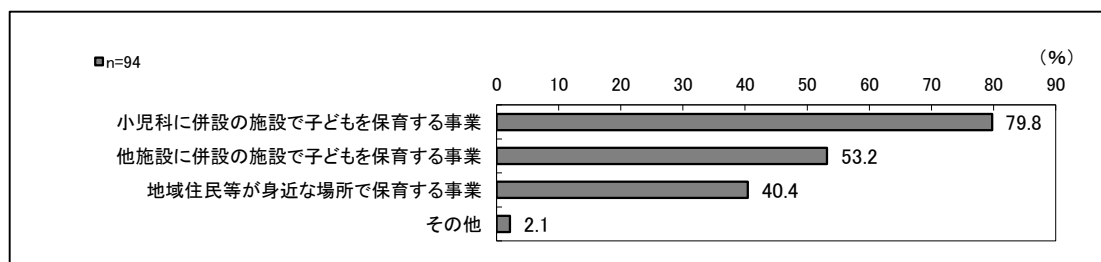
・利用したかった日数

「1～3日」(24.5%)、「7～10日」(23.4%)、「4～6日」(22.3%)、「11～20日」(7.4%)、「21～30日」(6.4%)、「31日以上」(1.1%)となっている。



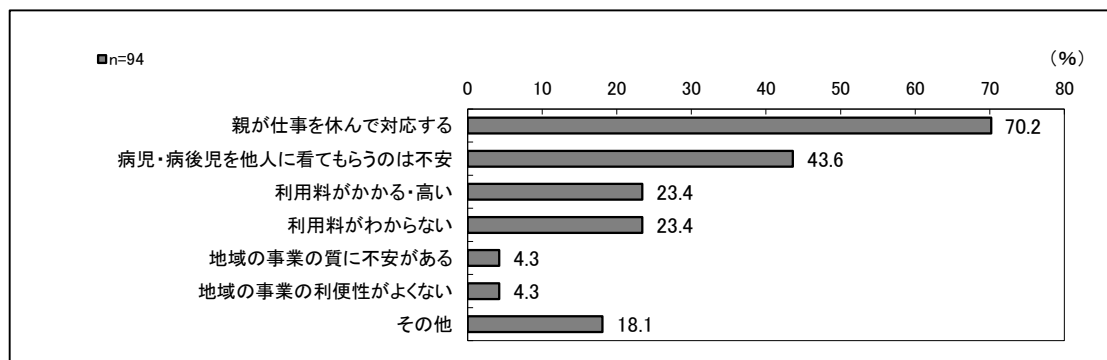
問 21-3 問 21-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」に○をつけた方にうかがいます。上記の目的で子どもを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。(あてはまる番号すべてに○)

「小児科に併設の施設で子どもを保育する事業」(79.8%)、「他施設に併設の施設で子どもを保育する事業」(53.2%)、「地域住民等が身近な場所で保育する事業」(40.4%)となっている。



問 21-4 問 21-2 で「2. 利用したいと思わない」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「親が仕事を休んで対応する」(70.2%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(43.6%)、「利用料がかかる・高い」・「利用料がわからない」(同率 23.4%)、「地域の事業の質に不安がある」・「地域の事業の利便性がよくない」(同率 4.3%)となっている。



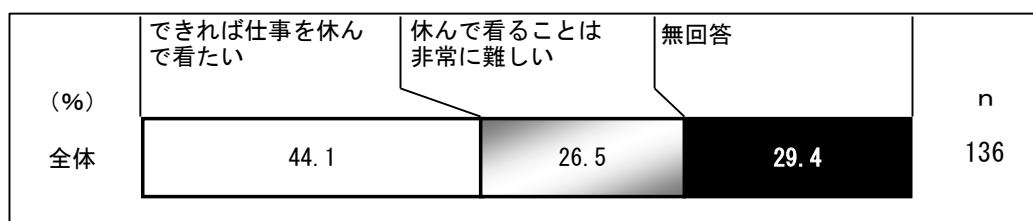
【前回調査との比較】

「親が仕事を休んで対応する」が 58.8%となっており、10 ポイント以上高くなっている。

問 21-1 で「3. 」から「7. 」のいずれかに回答した方にうかがいます。

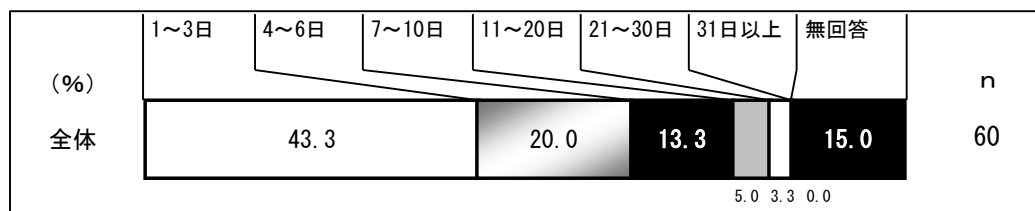
問 21-5 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。(1 つに○、「3. 」から「7. 」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数を数字で記入、数字は一桁に一字)

「できれば仕事を休んで看たい」(44.1%)、「休んで看することは非常に難しい」(26.5%)となっている。



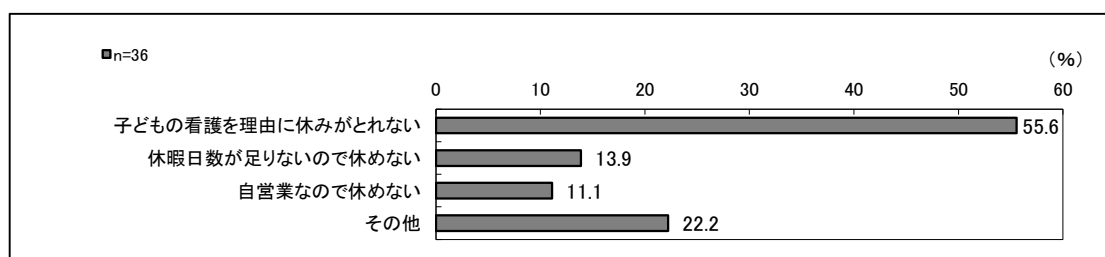
・休んで見たかった日数

「1～3日」(43.3%)、「4～6日」(20.0%)、「7～10日」(13.3%)、「11～20日」(5.0%)、「21～30日」(3.3%)となっている。



問 21-6 問 21-5 で「2. 休んで看することは非常に難しい」に○をつけた方にうかがいます。そう思われる理由をお答えください。(あてはまる番号すべてに○)

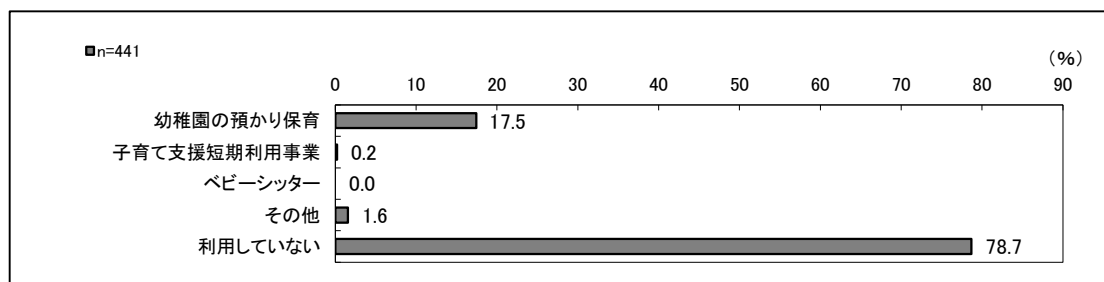
「子どもの看護を理由に休みがとれない」(55.6%)、「休暇日数が足りないので休めない」(13.9%)、「自営業なので休めない」(11.1%)となっている。



11 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

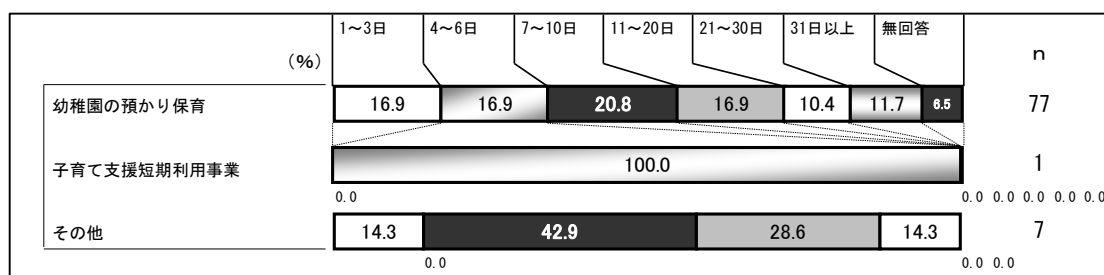
問 22 宛名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。(あてはまる番号すべてに○、それぞれの日数を口内に数字で記入、数字は一桁に一字)

「幼稚園の預かり保育」(17.5%)、「子育て支援短期利用事業」(0.2%)となっている。
なお、「利用していない」は78.7%となっている。



・日数

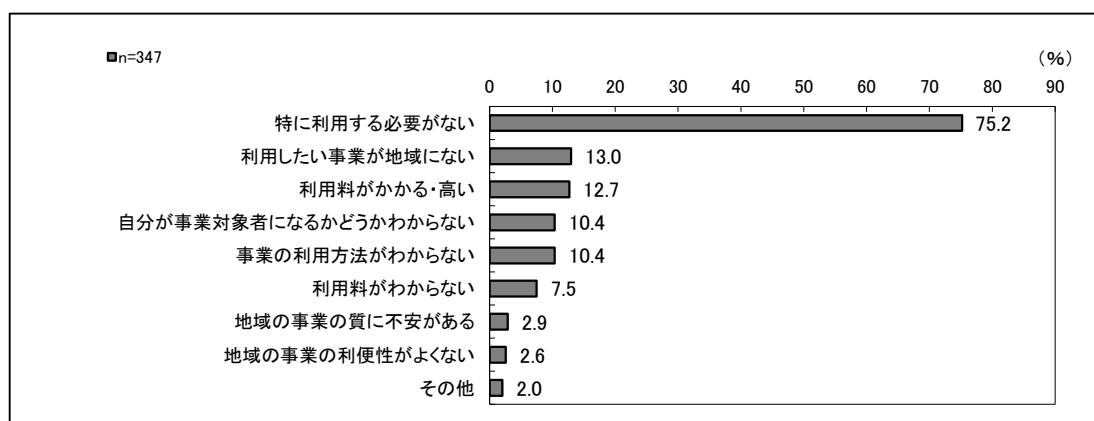
日数については、以下の通りとなっている。



※「ベビーシッター」は回答者なし

問 22-1 問 22 で「5. 利用していない」と回答した方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。(あてはまる番号すべてに○)

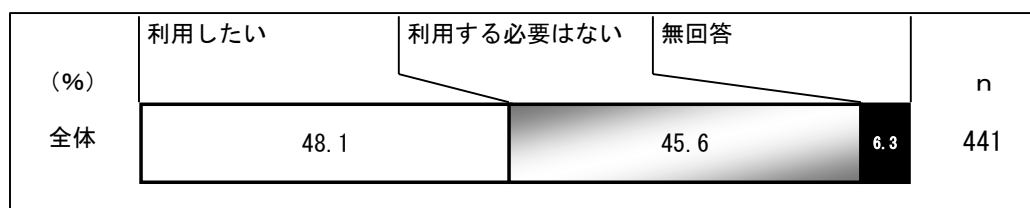
「特に利用する必要がない」(75.2%)、「利用したい事業が地域にない」(13.0%)、「利用料がかかる・高い」(12.7%)、「自分が事業対象者になるかどうか分からない」・「事業の利用方法がわからない」(同率 10.4%)、「利用料がわからない」(7.5%)、「地域の事業の質に不安がある」(2.9%)、「地域の事業の利便性がよくない」(2.6%)となっている。



問 23 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてお答えください。希望がある場合は、必要な日数もお答えください。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。（あてはまる番号すべてに○、それぞれの日数を口内に数字で記入、数字は一桁に一字）

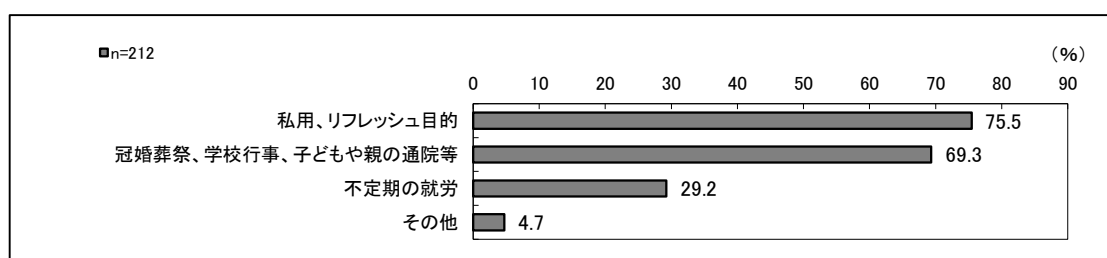
・ 不定期の事業を利用する必要性

「利用したい」（48.1%）、「利用する必要はない」（45.6%）となっている。



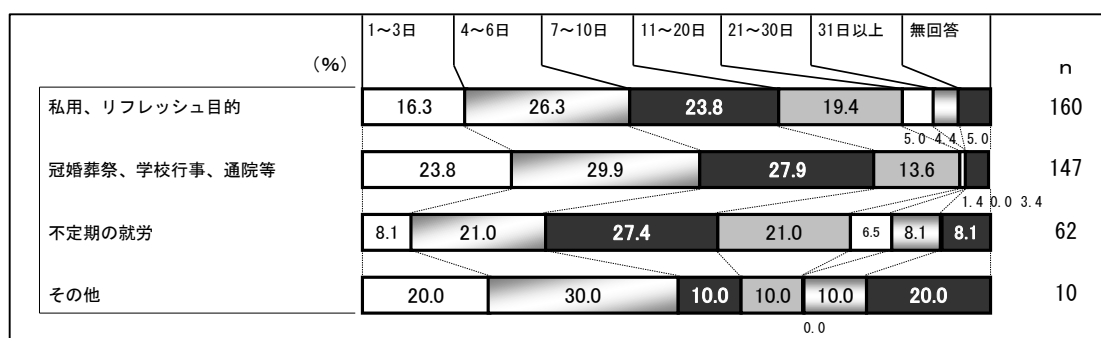
・ 不定期の事業を利用したい理由

不定期の事業を利用したい理由は、「私用、リフレッシュ目的」（75.5%）、「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」（69.3%）、「不定期の就労」（29.2%）となっている。



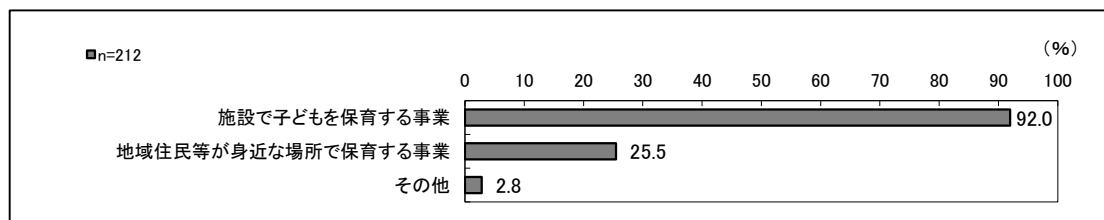
・ 不定期の事業を利用したい日数

日数については、以下の通りとなっている。



問 23-1 問 23 で「1. 利用したい」と回答した方にうかがいます。問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。
(あてはまる番号すべてに○)

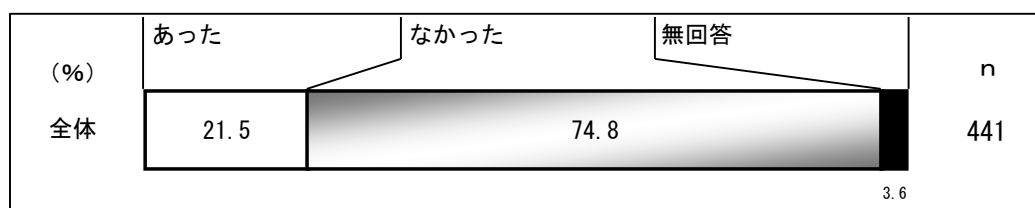
「施設で子どもを保育する事業」(92.0%)、「地域住民等が身近な場所で保育する事業」(25.5%) となっている。



問 24 この 1 年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。あった場合は、この 1 年間の対処方法と、それぞれの日数をお答えください。(あてはまる番号すべてに○、それぞれの日数を口内に数字で記入、数字は一桁に一字)

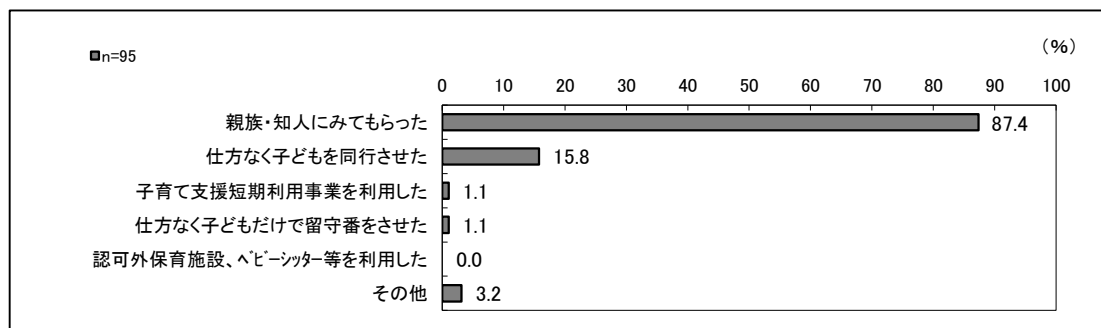
・ 宿泊を伴って預ける必要性

「なかった」(74.8%)、「あった」(21.5%) となっている。



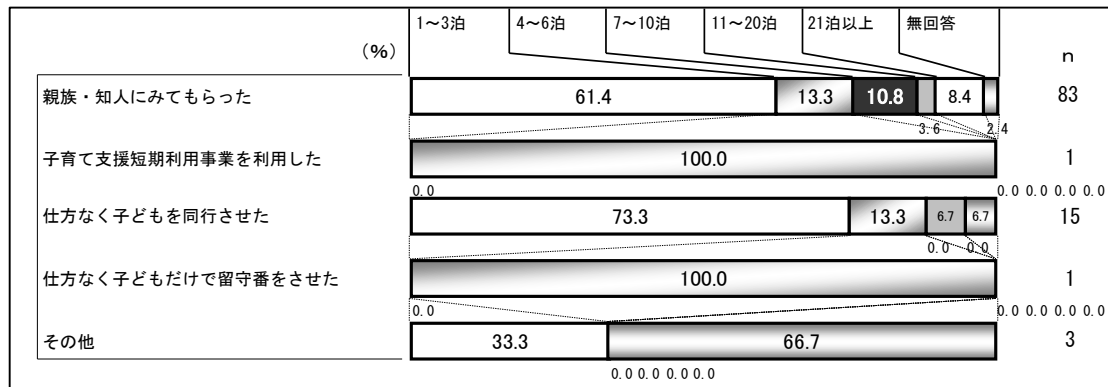
・ この 1 年間の対処方法

「親族・知人にみてもらった」(87.4%)、「仕方なく子どもを同行させた」(15.8%)、「子育て支援短期利用事業を利用した」・「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」(同率 1.1%) となっている。



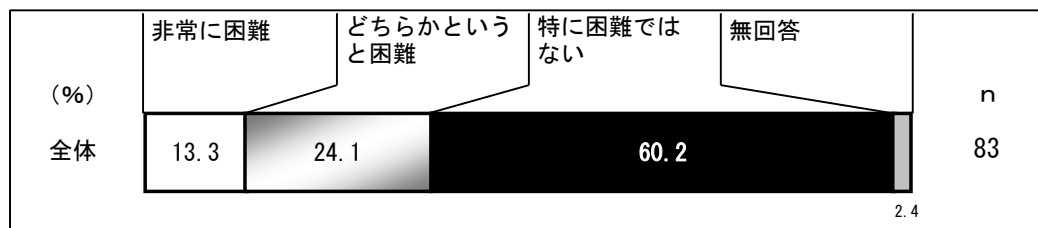
・泊りがけで預けた泊数

泊数については、以下の通りとなっている。



問 24-1 問 24 で「1. あった(1) (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいます。⇒ 1. 以外を選択した方は 問 25 へ。
その場合の困難度はどの程度でしたか。(1つに○)

「特に困難ではない」(60.2%)、「どちらかという困難」(24.1%)、「非常に困難」(13.3%) となっている。



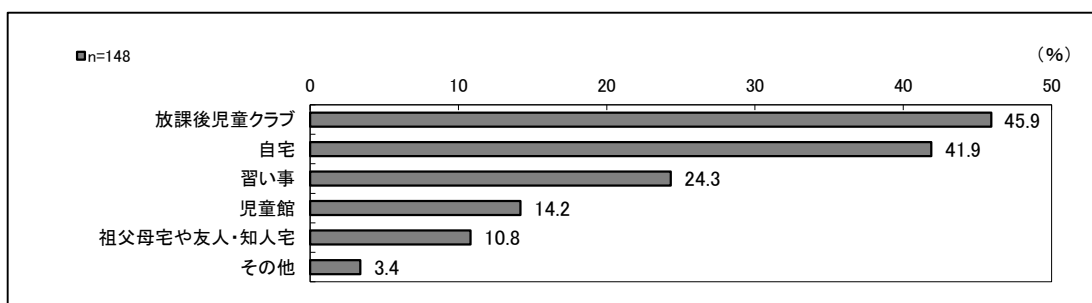
12 小学校就学後の放課後の過ごし方について

問 25 宛名のお子さんについて、小学校低学年（１～３年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、「放課後児童クラブ」を希望する場合には、利用希望時間もお答えください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。(あてはまる番号すべてに○、それぞれの日数を口内に数字で記入、数字は一枠に一字)

※「放課後児童クラブ」・・・保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。

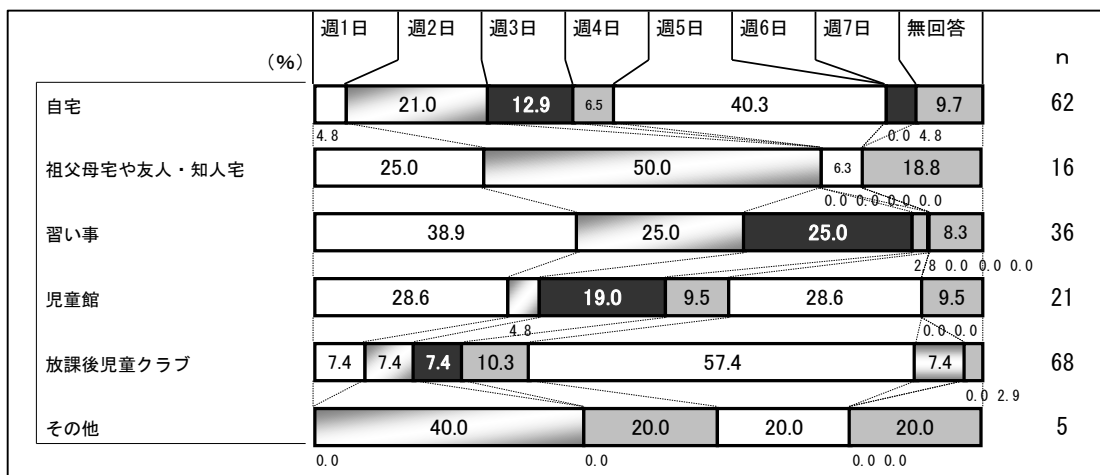
※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「5.」に回答

低学年のうちの放課後の過ごし方は、「放課後児童クラブ」(45.9%)、「自宅」(41.9%)、「習い事」(24.3%)、「児童館」(14.2%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(10.8%)となっている。



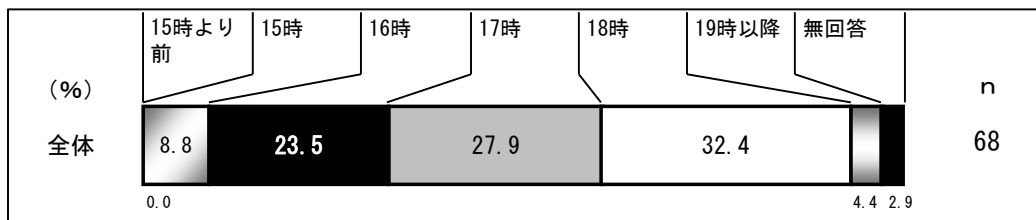
・日数

日数については、以下の通りとなっている。



・希望終了時刻

「18時」(32.4%)、「17時」(27.9%)、「16時」(23.5%)、「15時」(8.8%)、「19時以降」(4.4%)となっている。

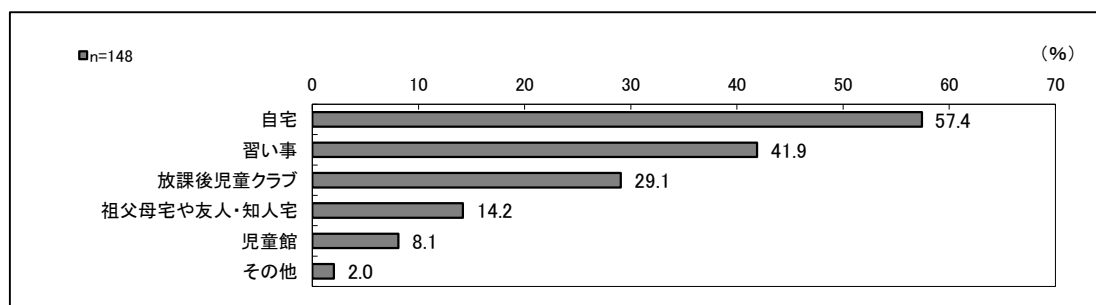


問 26 宛名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。また、「放課後児童クラブ」を希望する場合には、利用希望時間もお答えください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。(あてはまる番号すべてに○、それぞれの日数を口内に数字で記入、数字は一枠に一字)

※かなり先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

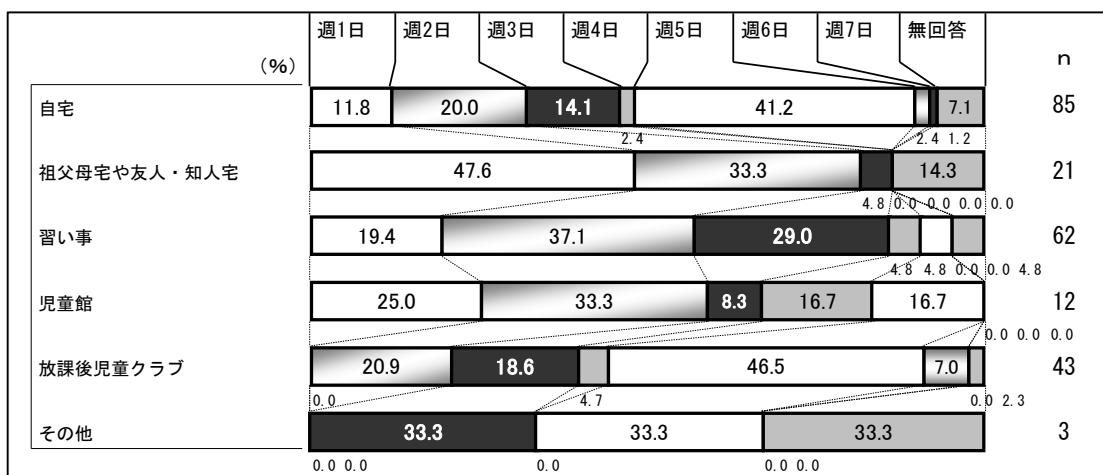
※ 児童館で行う放課後児童クラブの利用を希望する場合は「5.」に回答

高学年になってからの放課後の過ごし方は、「自宅」(57.4%)、「習い事」(41.9%)、「放課後児童クラブ」(29.1%)、「祖父母宅や友人・知人宅」(14.2%)、「児童館」(8.1%)となっている。



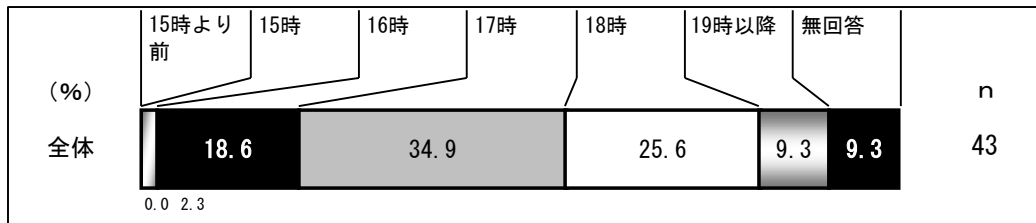
・日数

日数については、以下の通りとなっている。



・希望終了時刻

「17 時」(34.9%)、「18 時」(25.6%)、「16 時」(18.6%)、「19 時以降」(9.3%)、「15 時」(2.3%) となっている。



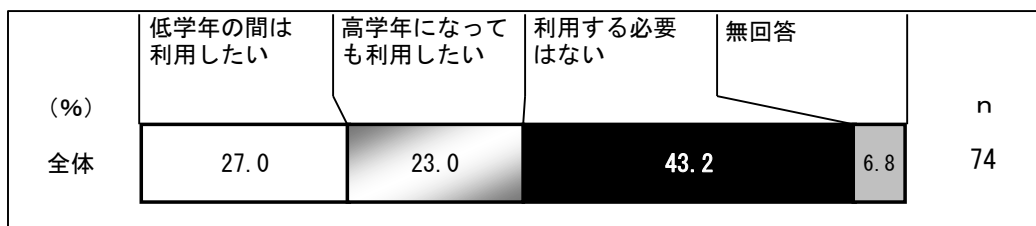
問 27 問 25 または問 26 で「5. 放課後児童クラブ」に○をつけた方にうかがいます。宛名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。(1)(2)それぞれについてお答えください。また、利用したい場合は、利用希望時間もお答えください。時間は必ず(例)18 時のように 24 時間制でご記入ください。(遠軽町は無料で利用できます。)

(1 つに○、それぞれの日数を口内に数字で記入、数字は一桁に一字)

(1) 土曜日

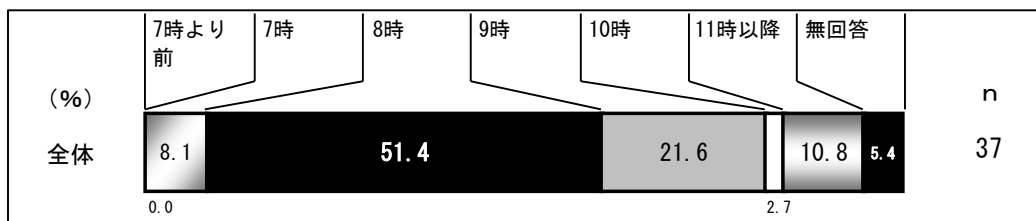
(1) 利用希望：土曜日

「利用する必要はない」(43.2%)、「低学年の間は利用したい」(27.0%)、「高学年になっても利用したい」(23.0%) となっている。



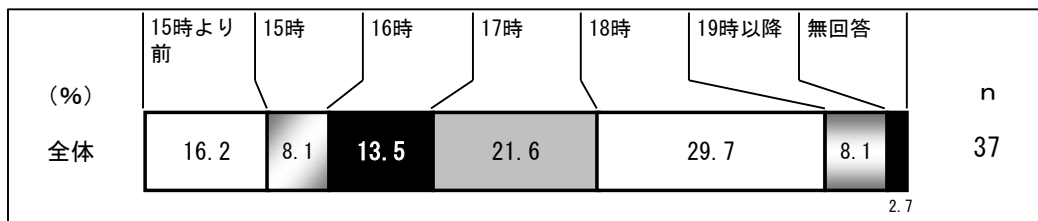
(1) -1 利用希望：土曜日：開始時刻

「8 時」(51.4%)、「9 時」(21.6%)、「11 時以降」(10.8%)、「7 時」(8.1%)、「10 時」(2.7%) となっている。



(1) -2 利用希望：土曜日：終了時刻

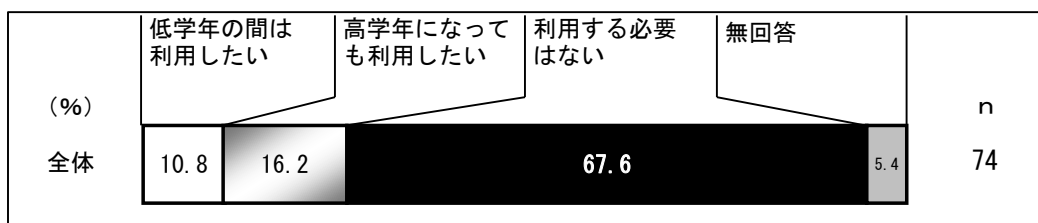
「18時」(29.7%)、「17時」(21.6%)、「15時より前」(16.2%)、「16時」(13.5%)、「15時」・「19時以降」(同率8.1%)となっている。



(2) 日曜・祝日

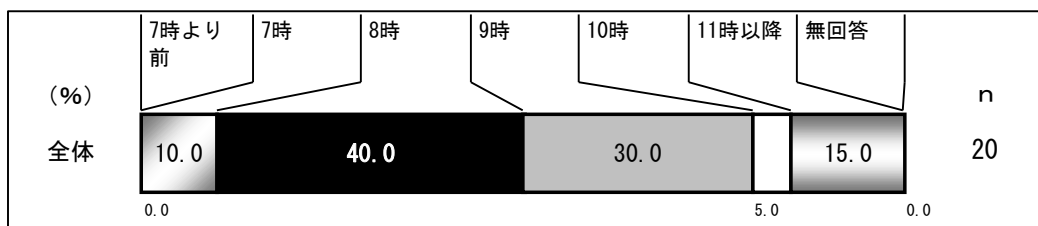
(2) 利用希望：日曜・祝日

「利用する必要はない」(67.6%)、「高学年になっても利用したい」(16.2%)、「低学年の間は利用したい」(10.8%)となっている。



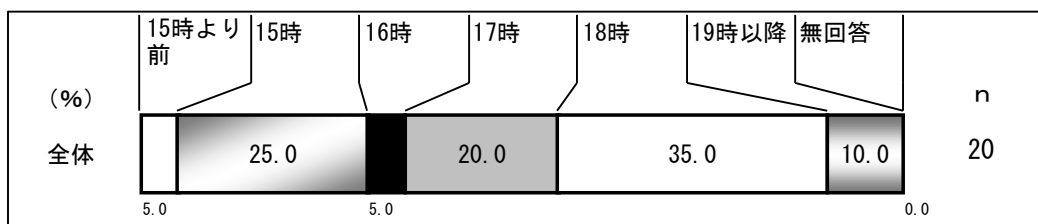
(2) -1 利用希望：日曜・祝日：開始時刻

「8時」(40.0%)、「9時」(30.0%)、「11時以降」(15.0%)、「7時」(10.0%)、「10時」(5.0%)となっている。



(2) -2 利用希望：日曜・祝日：終了時刻

「18時」(35.0%)、「15時」(25.0%)、「17時」(20.0%)、「19時以降」(10.0%)、「15時より前」・「16時」(同率5.0%)となっている。



問 28 宛名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなど長期の休み期間中の放課後児童クラブの利用希望はありますか。また、利用したい場合は、利用希望時間もお答えください。時間は必ず(例)18時のように24時間制でご記入ください。(1つに○、それぞれの日数を口内に数字で記入、数字は一桁に一字)

「低学年の間は利用したい」(31.8%)、「利用する必要はない」(25.7%)、「高学年になっても利用したい」(20.9%)となっている。

(%)	低学年の間は 利用したい	高学年になっても 利用したい	利用する必要 はない	無回答	n
全体	31.8	20.9	25.7	21.6	148

(1) -1 長期休暇期間中：開始時刻

「8時」(65.4%)、「9時」(20.5%)、「7時」(6.4%)、「10時」・「11時以降」(同率1.3%)となっている。

(%)	7時より前	7時	8時	9時	10時	11時以降	無回答	n
全体	0.0	6.4	65.4	20.5	1.3	1.3	5.1	78

(1) -2 長期休暇期間中：終了時刻

「17時」(28.2%)、「18時」(24.4%)、「16時」(20.5%)、「15時」(14.1%)、「19時以降」(5.1%)、「15時より前」(3.8%)となっている。

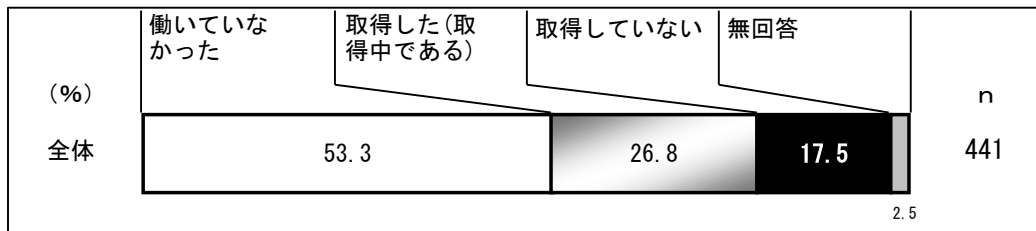
(%)	15時より前	15時	16時	17時	18時	19時以降	無回答	n
全体	3.8	14.1	20.5	28.2	24.4	5.1	3.8	78

13 職場の両立支援制度について

問 29 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについてお答えください。（1つに○）また、取得していない方は、その理由をお答えください。（あてはまる番号すべてに○）

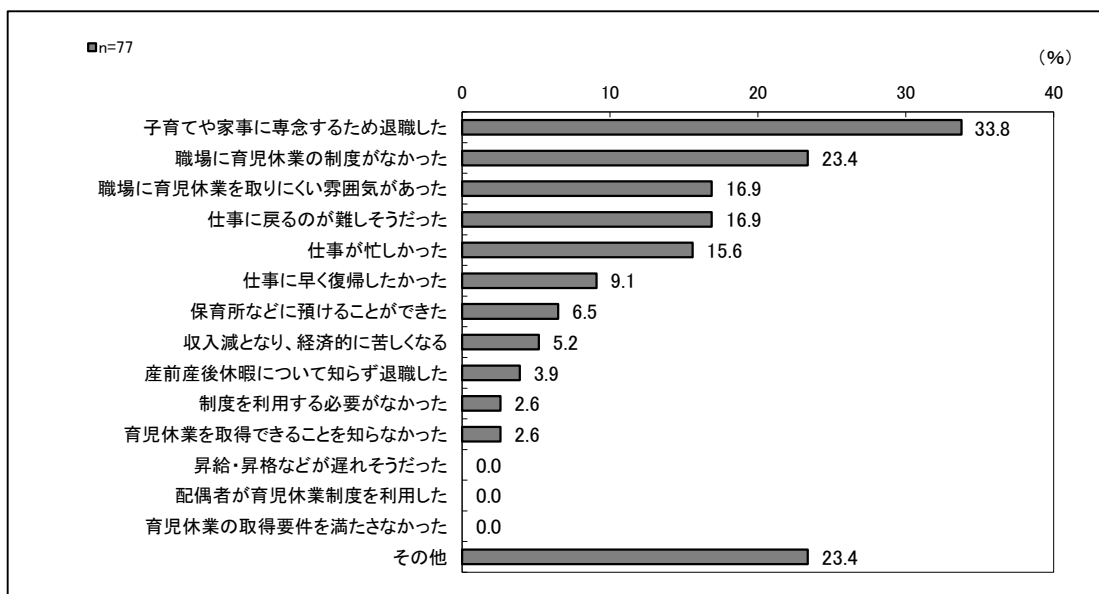
（１）-1 母親：育児休業の取得について

「働いていなかった」（53.3%）、「取得した（取得中である）」（26.8%）、「取得していない」（17.5%）となっている。



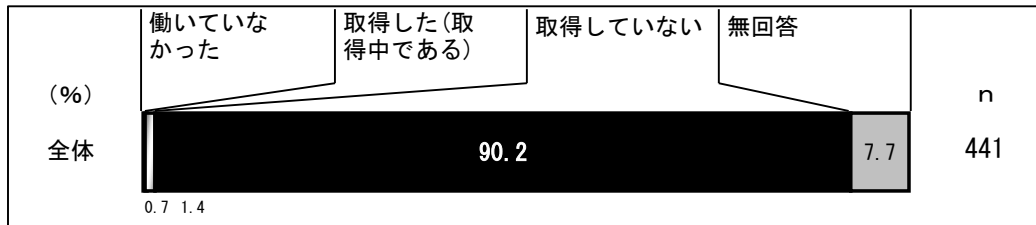
（１）-2 母親：育児休業を取得していない理由

「子育てや家事に専念するため退職した」（33.8%）、「職場に育児休業の制度がなかった」（23.4%）、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」・「仕事に戻るのが難しそうだった」（同率 16.9%）、「仕事が忙しかった」（15.6%）、「仕事に早く復帰したかった」（9.1%）、「保育所などに預けることができた」（6.5%）、「収入減となり、経済的に苦しくなる」（5.2%）、「産前産後休暇について知らず退職した」（3.9%）、「制度を利用する必要がなかった」・「育児休業を取得できることを知らなかった」（同率 2.6%）となっている。



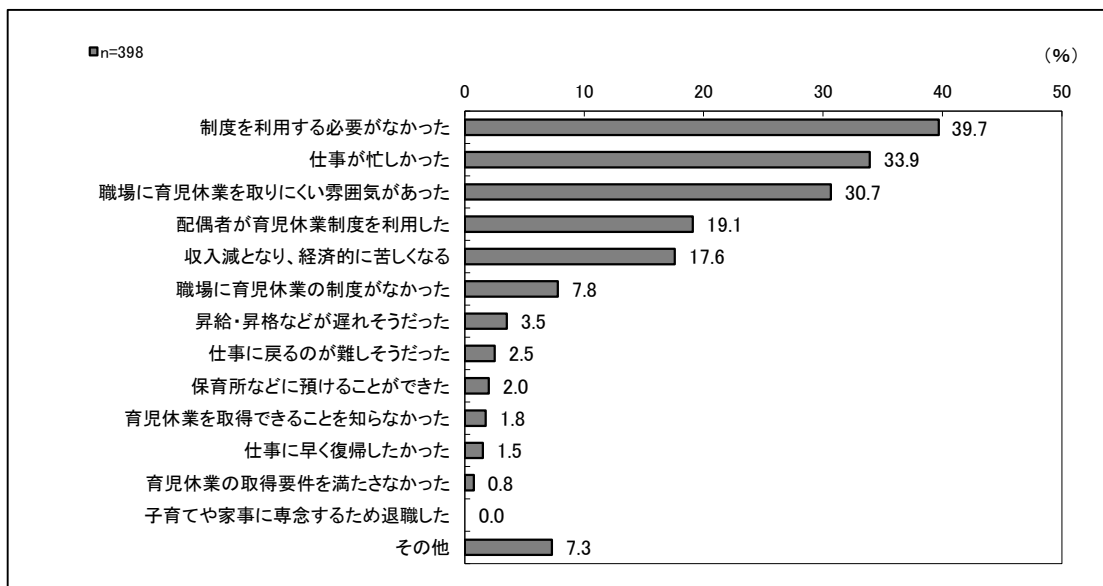
(2) -1 父親：育児休業の取得について

「取得していない」(90.2%)、「取得した(取得中である)」(1.4%)、「働いていなかった」(0.7%) となっている。



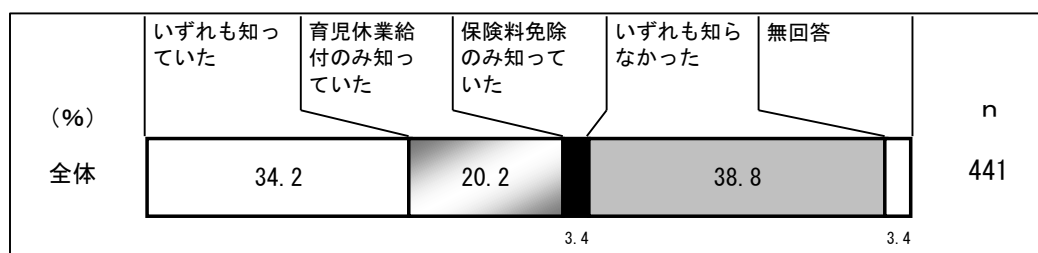
(2) -2 父親：育児休業を取得していない理由

「制度を利用する必要がなかった」(39.7%)、「仕事が忙しかった」(33.9%)、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」(30.7%)、「配偶者が育児休業制度を利用した」(19.1%)、「収入減となり、経済的に苦しくなる」(17.6%)、「職場に育児休業の制度がなかった」(7.8%)、「昇給・昇格などが遅れそうだった」(3.5%)、「仕事に戻るのが難しそうだった」(2.5%)、「保育所などに預けることができた」(2.0%)、「育児休業を取得できることを知らなかった」(1.8%)、「仕事に早く復帰したかった」(1.5%)、「育児休業の取得要件を満たさなかった」(0.8%) となっている。



問 29-1 子どもが原則 1 歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は 1 歳 6 ヶ月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満 3 歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。（1 つに○）

「いずれも知らなかった」（38.8%）、「いずれも知っていた」（34.2%）、「育児休業給付のみ知っていた」（20.2%）、「保険料免除のみ知っていた」（3.4%）となっている。

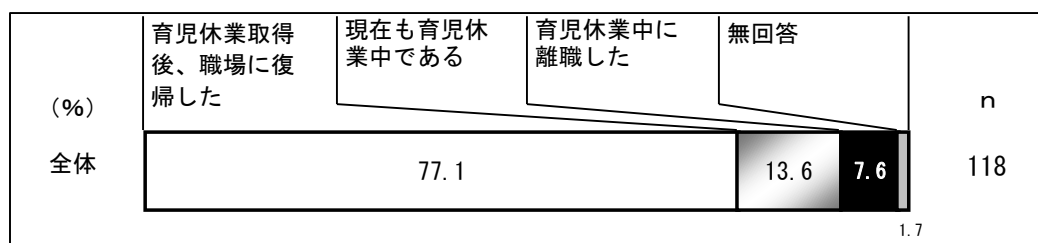


問 29 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。

問 29-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（1 つに○）

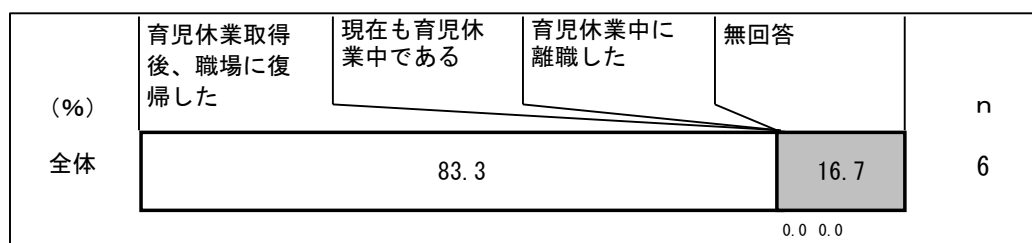
（1）母親

「育児休業取得後、職場に復帰した」（77.1%）、「現在も育児休業中である」（13.6%）、「育児休業中に離職した」（7.6%）となっている。



（2）父親

「育児休業取得後、職場に復帰した」（83.3%）となっている。

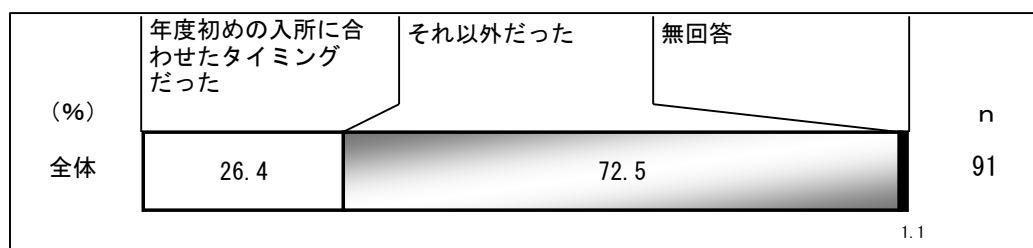


問 29-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 問 29-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所、認定こども園入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。(1つに○)

※ 年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

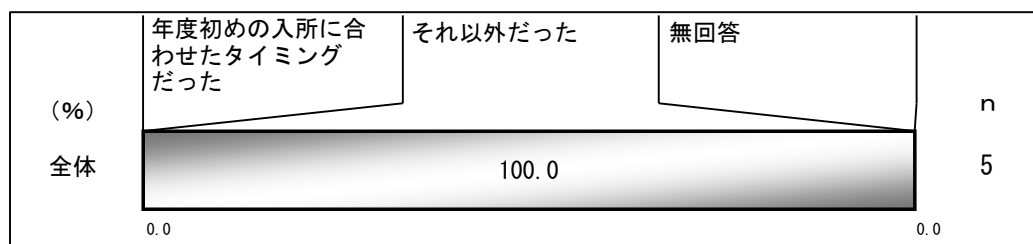
(1) 母親

「それ以外だった」(72.5%)、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」(26.4%)となっている。



(2) 父親

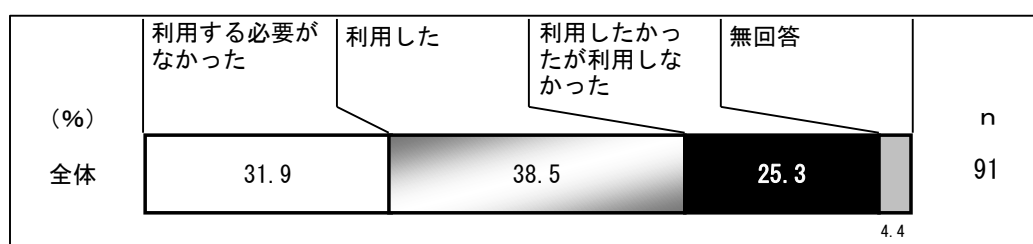
「それ以外だった」(100.0%)となっている。



問 29-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
 問 29-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。(1つに○)

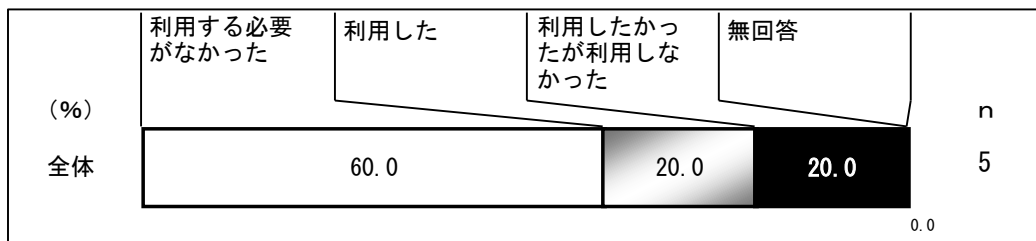
(1) 母親

「利用した」(38.5%)、「利用する必要がなかった」(31.9%)、「利用したかったが利用しなかった」(25.3%)となっている。



(2) 父親

「利用する必要がなかった」(60.0%)、「利用した」・「利用したかったが利用しなかった」(同率 20.0%) となっている。

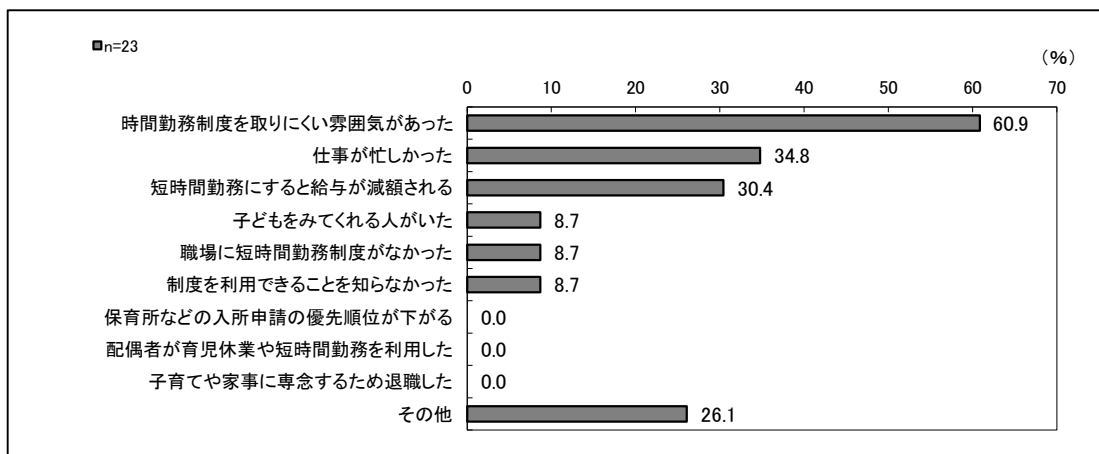


問 29-4 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と回答した方にうかがいます。

問 29-5 短時間勤務制度を利用しなかった（利用できなかった）理由は何ですか。（あてはまる番号すべてに○）

(1) 母親

「時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」(60.9%)、「仕事が忙しかった」(34.8%)、「短時間勤務にすると給与が減額される」(30.4%)、「子どもをみてくれる人がいた」・「職場に短時間勤務制度がなかった」・「制度を利用できることを知らなかった」(同率 8.7%) となっている。



(2) 父親

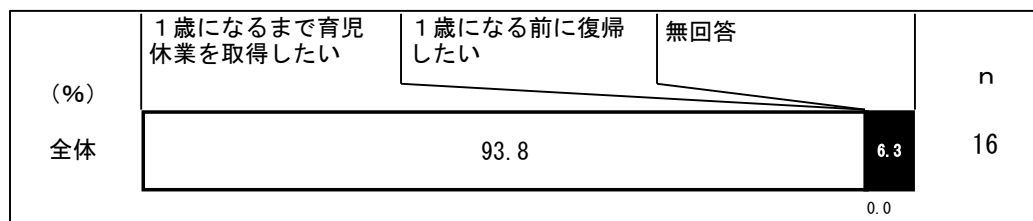
※回答は、「時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が1名のみ。

問 29-2 で「2. 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問 29-6 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。(1つに○)

(1) 母親

「1歳になるまで育児休業を取得したい」(93.8%)となっている。



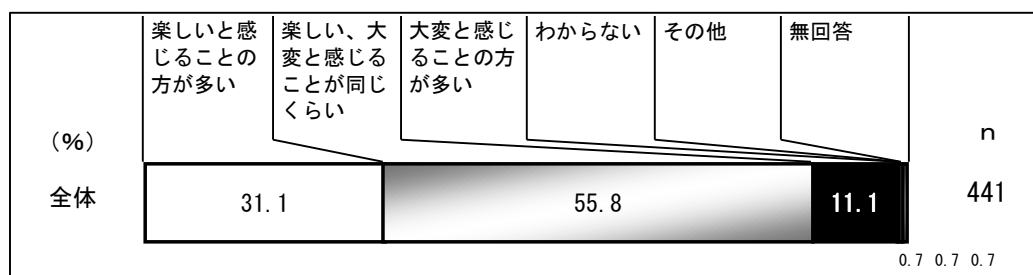
(2) 父親

※回答者なし

14 子育て環境や支援について

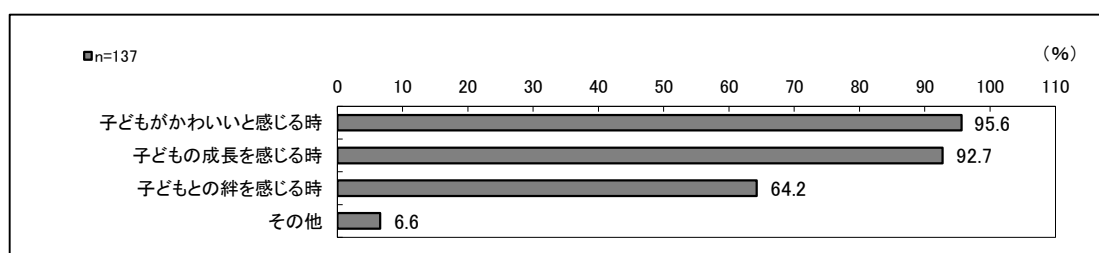
問 30 あなたは、自分にとって子育てを楽しいと感じるときが多いと思いますか。それとも大変と感じるときが多いと思いますか。(1つに○)

「楽しい、大変と感じることが同じくらい」(55.8%)、「楽しいと感じることの方が多い」(31.1%)、「大変と感じることの方が多い」(11.1%)となっている。



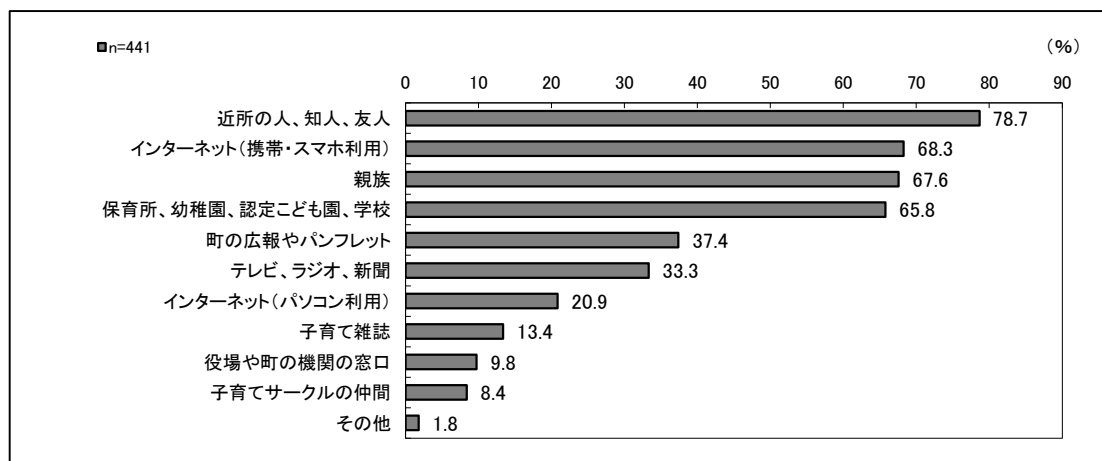
問 30-1 問 30 で「1. 楽しいと感じることの方が多い」と答えた方にうかがいます。楽しいと感じるのはどのような時ですか。(あてはまる番号すべてに○)

「子どもがかわいいと感じる時」(95.6%)、「子どもの成長を感じる時」(92.7%)、「子どもとの絆を感じる時」(64.2%)となっている。



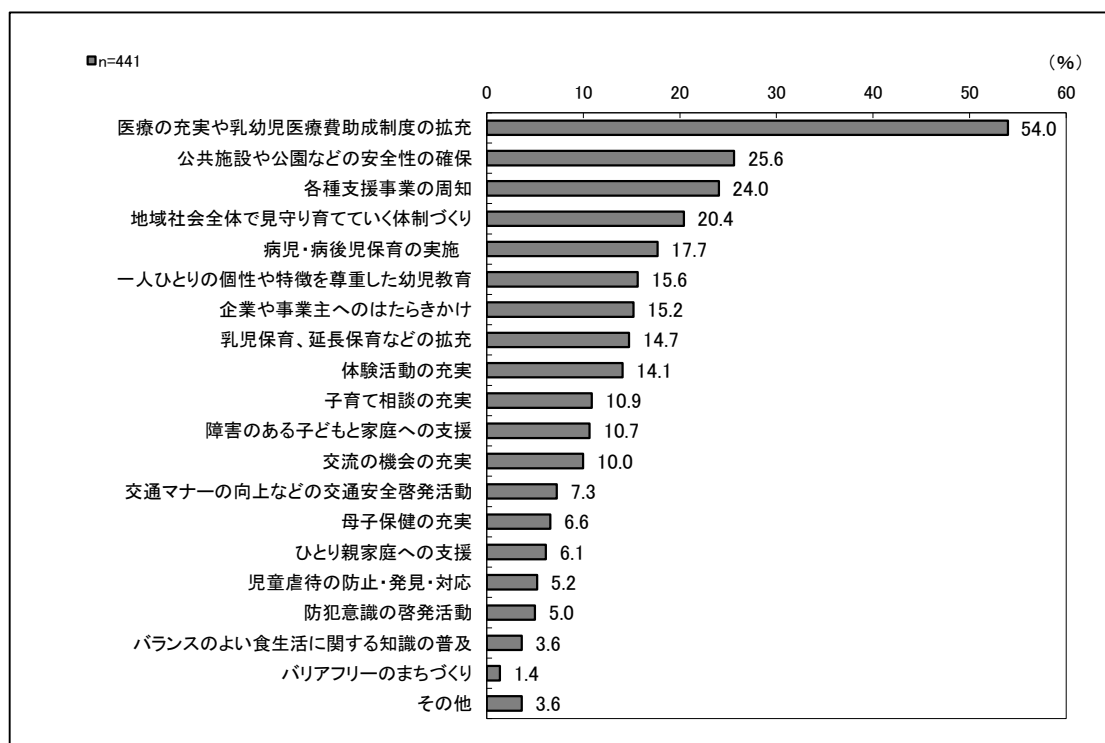
問 31 あなたは、子育てに関する情報をどこ（誰・何）から入手しますか。（あてはまる番号すべてに○）

「近所の人、知人、友人」（78.7%）、「インターネット（携帯・スマホ利用）」（68.3%）、
「親族」（67.6%）、「保育所、幼稚園、認定こども園、学校」（65.8%）、「町の広報やパン
フレット」（37.4%）、「テレビ、ラジオ、新聞」（33.3%）、「インターネット（パソコン利
用）」（20.9%）、「子育て雑誌」（13.4%）、「役場や町の機関の窓口」（9.8%）、「子育てサ
ークルの仲間」（8.4%）となっている。



問 32 子育てについて考えたとき、今後、行政や関係機関の取り組みとして必要と思われること、充実してほしいと思われることは何ですか。(あてはまる番号3つまでに○)

「医療の充実や乳幼児医療費助成制度の拡充」(54.0%)、「公共施設や公園などの安全性の確保」(25.6%)、「各種支援事業の周知」(24.0%)、「地域社会全体で見守り育てていく体制づくり」(20.4%)、「病児・病後児保育の実施」(17.7%)、「一人ひとりの個性や特徴を尊重した幼児教育」(15.6%)、「企業や事業主へのはたらきかけ」(15.2%)、「乳児保育、延長保育などの拡充」(14.7%)、「体験活動の充実」(14.1%)、「子育て相談の充実」(10.9%)、「障害のある子どもと家庭への支援」(10.7%)、「交流の機会の充実」(10.0%)、「交通マナーの向上などの交通安全啓発活動」(7.3%)、「母子保健の充実」(6.6%)、「ひとり親家庭への支援」(6.1%)、「児童虐待の防止・発見・対応」(5.2%)、「防犯意識の啓発活動」(5.0%)、「バランスのよい食生活に関する知識の普及」(3.6%)、「バリアフリーのまちづくり」(1.4%)となっている。



問 33 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。(1つに○)

「満足度3」(33.6%)、「満足度2」(29.7%)、「満足度1」・「満足度4」(同率15.2%)、「満足度5」(1.6%)となっている。

(満足度：1＝低 ⇔ 5＝高)

	満足度1	満足度2	満足度3	満足度4	満足度5	無回答	n
(%)							
全体	15.2	29.7	33.6	15.2	1.6	4.8	441

15 自由記載

問 36 最後に教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

※別紙参照